

トヨタ純正

オートアラーム

取付要領書

このたびは、トヨタ純正オートアラームをお買い上げいただきましてありがとうございます。

本書は、オートアラームの取付要領について記載してあります。

取り付けの前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

【別紙の取扱書は、必ずお客様にお渡しください。】

品 番

品 番

08625-B1080

構 成 部 品 名

【取り付け前に以下の表に従って部品がそろっているかご確認ください】

No.	品 名	個数	補修品 有無
①	インジケータ	1	有
②	センサー (白マーク)	1	有
③	センサー (赤マーク)	1	有
④	コントローラー	1	有
⑤	ホーン	1	有
⑥	ハーネス	1	有
⑦	ボルト (M8×25)	1	無
⑧	ナット (M8)	1	無
⑨	ボルト (M8×12)、ナット (M8)、両面テープ	各2	有
⑩	ハーネスプロテクター	1	無
⑪	スポンジテープ	2	無
⑫	クランプ (小)	29	無
⑬	クランプ (大)	2	無
⑭	両面テープ (インジケータに付属)	1	有
⑮	エレクトロタップ (赤)	11	無
⑯	エレクトロタップ (桃)	4	無
⑰	セキュリティラベル	1	有
⑱	サブハーネス	1	有
⑲	型紙	1	無
	取付要領書 (WEB)	1	無
	取扱書 (WEB)	1	無

品 名 及 び 補 修 品 番

No.	品 名	補修品番	個数	備考
① + ⑭	インジケータ	0862A-B2005	1	_____
② + ⑨	センサー (白マーク)	08626-B2015	1	_____
③ + ⑨	センサー (赤マーク)	08626-B2005	1	_____
④	コントローラー	0862A-B1020	1	_____
⑤	ホーン	86520-B2040	1	_____
⑥ + ⑱	ハーネスASSY	0862B-B1030	1	_____
⑰	セキュリティラベル	74515-B2040	1	_____

使用工具・用意するもの

一般工具、電動ドリル、ハサミ、キリ、スケール、ヤスリ、ペーパーウエス、脱脂剤等、ケガキ針、ビニールテープ、保護テープ、保護メガネ、ウエス、ドライヤー等

トヨタ自動車株式会社

ZZ113-01395-A0

- 1/36 -

取り付け上の注意

この取付要領書では安全な作業をしていただくため、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています。

⚠注意 … 注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車を破損するなどの恐れがあります。

ℹアドバイス … スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

1. 本文中の **⚠注意** は必ず取り付けに反映させて作業を行ってください。もし **⚠注意** を無視して取り付けると製品の機能を阻害するばかりでなく、車両故障につながる恐れがあります。
2. 取付作業を容易に進行するために **ℹアドバイス** をお読みください。
3. 車両部品の取りはずしに際しては、クリップ、スクリュー、ボルト類は再使用しますので、紛失や損傷させないよう部品毎に整理し、復元作業時には間違えないよう配慮してください。また、車両に傷を付けないよう取り扱いには、十分注意してください。
4. 電動パーキングブレーキ付車は必ずスイッチの表示灯が点灯している事を確認してからバッテリー (-) 端子をはずしてください。
5. 作業前にパーキングブレーキが掛かっている事を確認してください。
6. ラゲージルーム内にバッテリーが搭載されている車両はバッテリー (-) 端子をはずした状態でバックドアを閉めると再度バッテリー (-) 端子を接続しないと開かなくなりますので注意してください。

取り付ける前に

・車両のドアロック、パワーウィンド、ランプ、ホーン、ワイパー等の装置が正常に作動するか確認しておく。



・必ず、バッテリーの(-)ケーブルははずしてから作業を行う。



・大切な車を守るために必要部分にカバーを取り付ける。

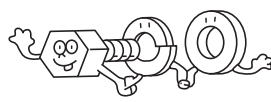


部品の取り付けは

・運転のじゃまや、居住性をそこなない場所を選ぶ。



・ボルト、ナットの締め付けは必ず規定のものを使用する。



・ボルト、ナットの締め付けには寸法にあった工具を使用し、トルク指示のあるものはトルクレンチを使用する。



・車両のボルト、ナットなどを使用して共締めする場合、ステアリングやブレーキ燃料系など重要部品のものには使用しない。



・締め付けを行う際、ワイヤーハーネスなど挟み込んでいないことを確認してから行う。

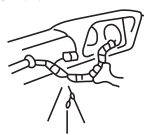


・取り付け穴をあける場合、必ず裏側に何も無いことを確認すること。



配線は

・車両のワイヤーハーネスはコネクタのかん合不良や損傷防止のため引っ張るなど力をかけないこと。



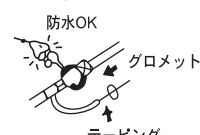
・配線作業時にコネクターなどはブラブラしないように幹線にテープ巻するかクランプなどを使用して固定すること。



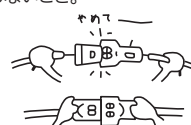
・ワイヤーハーネスは取付部品での噛み込み、板金エッジ可動部品、樹脂バリと干渉しない場所を配線し、確実に固定すること。



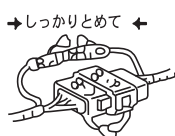
・室外から室内への配線にはグロメットを使用する等確実な防水対策を施すこと。



・コネクターをはずす場合はコネクター本体を持ち、ハーネスを引っ張らないこと。



・コネクターやターミナルは、確実に接続し、必ず確認を行うこと。

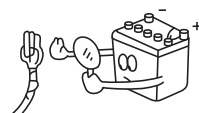


・バンドクランプを使用した箇所は、必ずバンドクランプ先端の余り部を切断すること。



取り付けが終わったら

・バッテリーのケーブルを復元する前に配線状態を確認する。



・取り付けした用品の作動確認を行うと同時に、車両の機器、装置が正常に作動することを確認する。



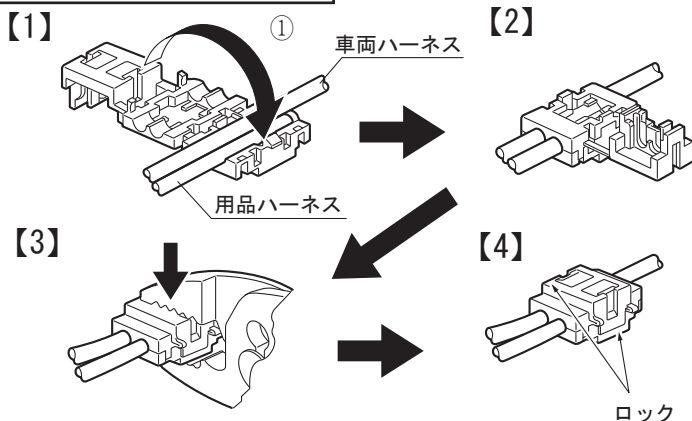
エレクトロタップの接続方法

エレクトロタップの使用上の注意事項

- (1) 車両のビニールチューブ等をカットする際は、車両ハーネスを傷付けないよう充分注意してください。
- (2) エレクトロタップは、他の用品が装着されている場合でも必ず、車両ハーネスに接続してください。
- (3) エレクトロタップの接続時に、クリック音と合わせてロックが確実に嵌合した事を確認してください。
- (4) 接続するコネクターの端子番号及び、用品ハーネスと車両ハーネスの線色を確認し、誤った接続をしないよう充分注意してください。
- (5) 同一コネクタに複数のエレクトロタップを接続する場合は、接続位置をずらしてください。
- (6) ヒンジ部が破損しても確実にロックできれば性能上問題ありません。
- (7) 一度使用したエレクトロタップは再使用しないでください。誤って接続した場合、エレクトロタップを車両ハーネスに付けたまま用品ハーネスを切断し、ビニールテープで絶縁処理してください。

エレクトロタップの接続手順

エレクトロタップ（赤）接続方法



✕ (角部分から圧着) ○ (真上から圧着)



1. 接続する車両側ハーネスに接続スペースが無い場合は、車両側ハーネスの外装 (ビニールチューブ、ビニールテープ等) をカットしてください。
2. エレクトロタップ (赤) の溝にハーネスをセットし【1】、①のようにはめ込み電線を仮固定します【2】。
3. プライヤーで左右ロックが掛かるまで完全に圧着します【3】、【4】。(クリック音を確認)

△注意

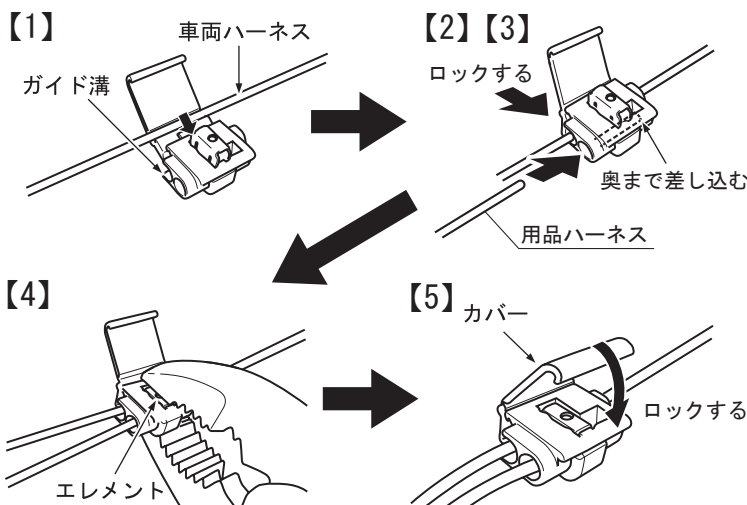
- ・圧着は斜め方向に力が加わらないように確実に行ってください。斜め方向に力が加わった場合、圧着不良となるおそれがあります。

4. エレクトロタップ (赤) にビニールテープを他の車両ハーネスごと巻き付けてください。

△注意

- ・車両配線色は色が変わることがありますので、念の為配線図集を確認してください。

エレクトロタップ（桃）接続方法



△注意

- ・【5】カバーは、手でロックしてください。プライヤー等で強く抑えるとロックが変形して外れるおそれがあります。

1. 接続する車両側ハーネスに接続スペースが無い場合は、車両側ハーネスの外装 (ビニールチューブ、ビニールテープ等) をカットしてください。
2. 車両ハーネスをエレクトロタップ (桃) のガイド溝に通し【1】、エレクトロタップ (桃) をロックします【2】。
3. 用品ハーネスを分岐穴に奥まで差し込みます【3】。
4. プライヤーでエレメントを押し込み、圧着します【4】。

△注意

- ・圧着は斜め方向に力が加わらないように確実に行ってください。斜め方向に力が加わった場合、圧着不良となるおそれがあります。

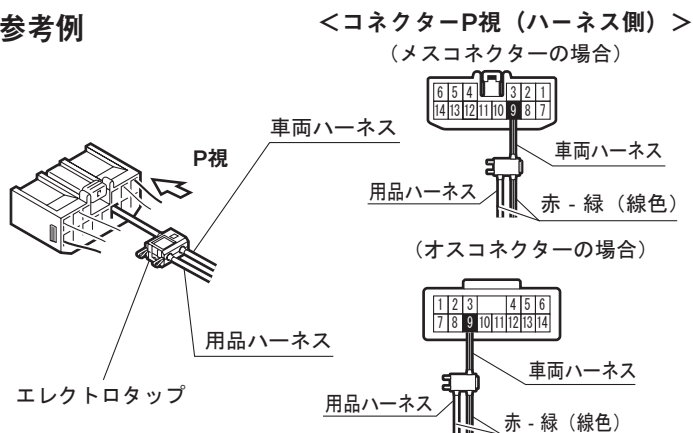
5. エレクトロタップ (桃) のカバーを折り曲げ、ロックします【5】。
6. エレクトロタップ (桃) にビニールテープを他の車両ハーネスごと巻き付けてください。

△注意

- ・車両配線色は色が変わることがありますので、念の為配線図集を確認してください。

エレクトロタップの接続部の標記について

参考例



本文中、エレクトロタップを接続する箇所のコネクタイラストについては、全て参考例のように、ハーネス側（P視）から見た標記に統一しています。

コネクタのオス・メス、端子番号を確認の上、正しく接続してください。（参考として、車両及び用品ハーネスの線色も標記しています。）

エレクトロタップの種類について



エレクトロタップ（赤）



エレクトロタップ（桃）

⚠注意

- ・エレクトロタップは線径によって取り付けの種類が異なります。使用するエレクトロタップを間違えないようにしてください。間違えた場合、信号が取れていなかったり断線などする場合があります。

車両部品の取り外し

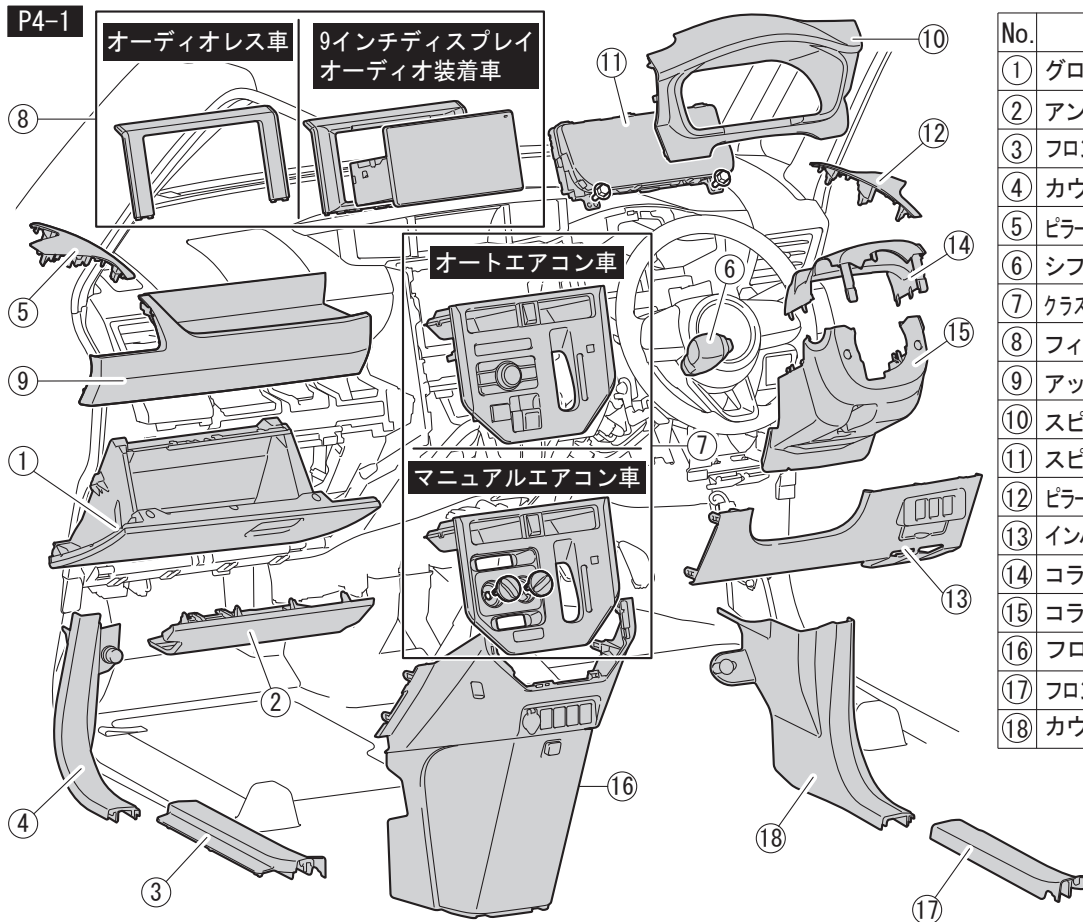
P4-1

オーディオレス車

9インチディスプレイ
オーディオ装着車

オートエアコン車

マニュアルエアコン車



No.	取り外し部品名称
①	グローブボックス
②	アンダーカバー
③	フロントダスクッププレート (LH)
④	カウルサイドトリム (LH)
⑤	ピラーガーニッシュコーナーピース (LH)
⑥	シフトレバーノブS/A
⑦	クラスタフィニッシュパネルロアセンター
⑧	フィニッシュパネル
⑨	アッパートレイ
⑩	スピードメーターカバー
⑪	スピードメーター
⑫	ピラーガーニッシュコーナーピース (RH)
⑬	インパネフィニッシュパネルS/Aロア
⑭	コラムカバー（アッパー）
⑮	コラムカバー（ロア）
⑯	フロントコンソール
⑰	フロントダスクッププレート (RH)
⑱	カウルサイドトリム (RH)

配線概要

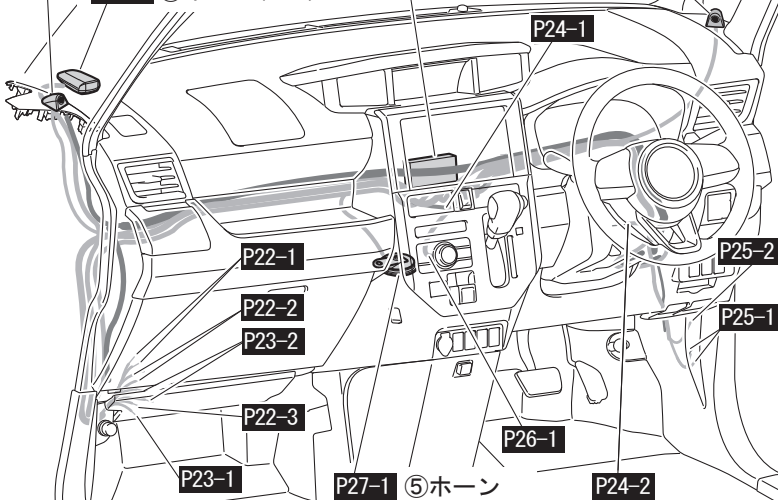
P5-1

オートエアコン車の場合

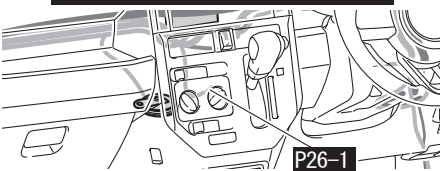
P14-2 ②センサー（白マーク）

P14-1 ③センサー（赤マーク）

P13-2 ①インジケーター P28-1 ④コントローラー



マニュアルエアコン車の場合



— : 車両ハーネス

P13-2 インジケーター

P14-1 センサー（赤マーク）

P14-2 センサー（白マーク）

P22-1

P22-2 ジャンクションブロックの配線（白色26P）

P22-3

P23-1 ジャンクションブロックの配線（白色36P）

P23-2 ジャンクションブロックの配線（黒色16P）

P24-1 ハザードスイッチの配線（灰色4P）

P24-2 車両ホーン信号の配線（灰色18P）

P25-1 右カウルサイド ワイヤ to ワイヤの配線（灰色12P）

P25-2 右カウルサイド ワイヤ to ワイヤの配線（白色26P）

P26-1 アースコード

P27-1 ホーン

P28-1 コントローラー

P12・13参照 インジケーター取り付け

P14～19参照 センサー取り付け

P27参照 ホーン取り付け

P28参照 コントローラー取り付け

アドバイス

P●-1は、本文の記載と対応しています。

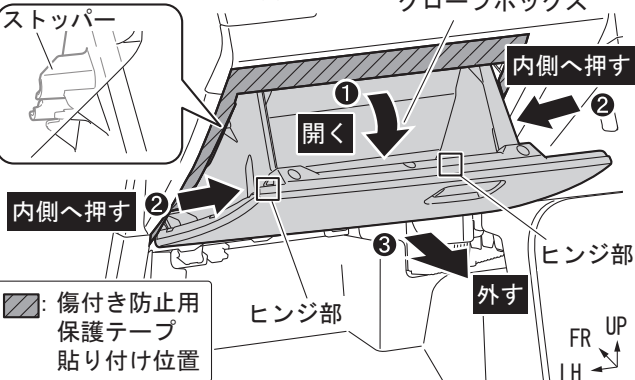
— 記載箇所

— 記載ページ

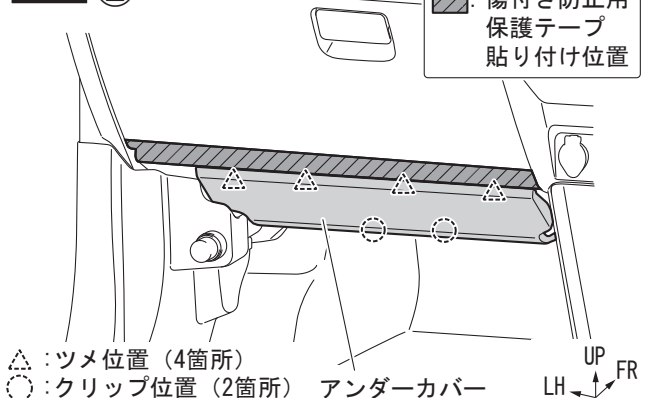
車両部品の取り外し要領

※車両部品の取り外しに必要なコネクターの接続を外してください。

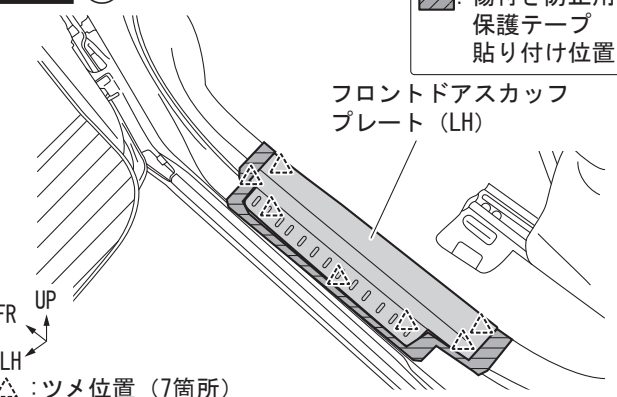
P5-2 ① ●下記手順を参考に、グローブボックスを取り外します。



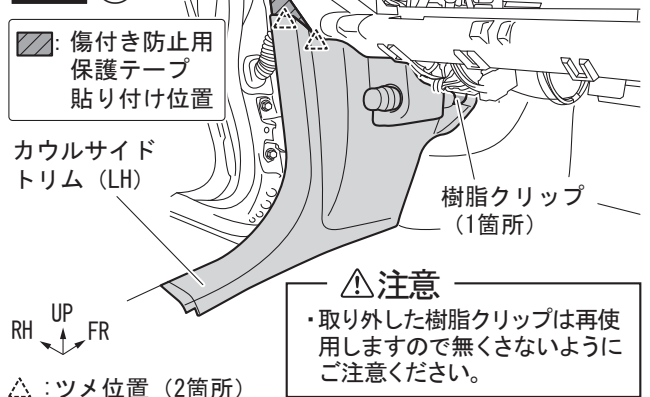
P5-3 ②



P5-4 ③

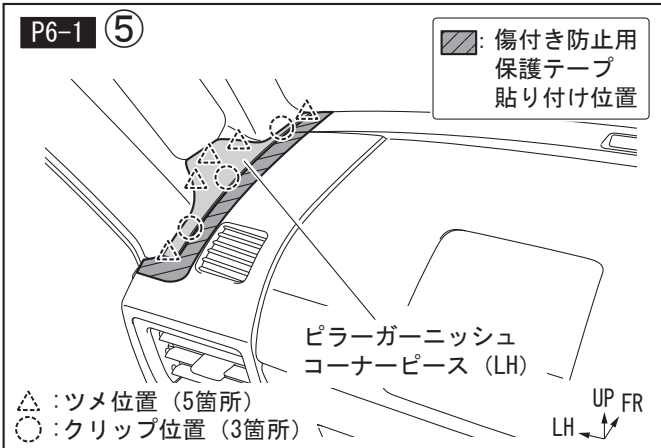


P5-5 ④

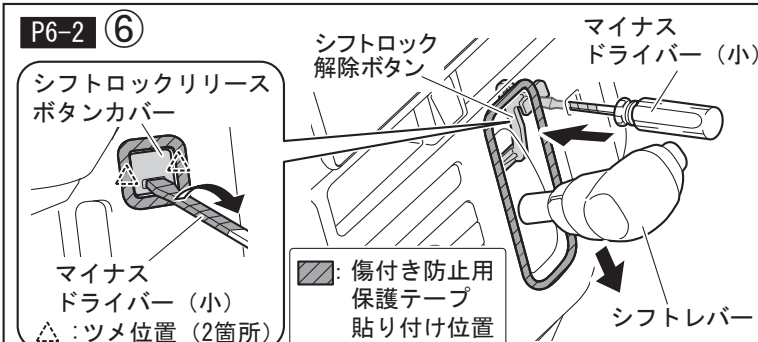


車両部品の取り外し要領

P6-1 ⑤



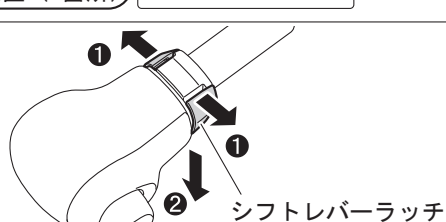
P6-2 ⑥



- 保護テープを巻いたマイナスドライバー (小) を吹き出しの矢印の方向へ動かし、シフトロックリリースボタンカバーを取り外す。
- シフトロック解除ボタンをマイナスドライバー (小) で押しながら、シフトレバーを N ポジションにする。

⚠注意

- ・電動パーキングブレーキ付車は必ずスイッチの表示灯が点灯している事を確認してからバッテリー (－) 端子を外してください。
- ・作業前にパーキングブレーキが掛かっていることを確認してください。

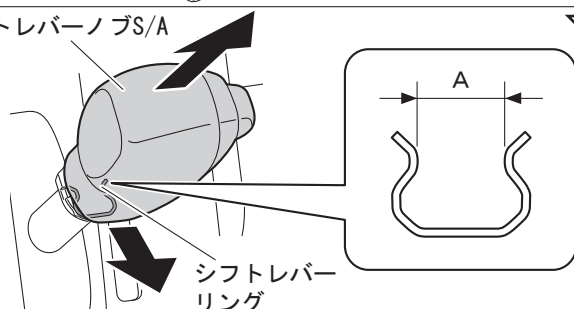


- 矢印 ①の方向にシフトレバーラッチを広げる。
- 矢印 ②の方向にスライドさせてシフトレバーラッチを取り外す。

⚠注意

- ・シフトレバーラッチの破損の原因となるため、マイナスドライバー等を使用しないでください。

シフトレバーノブS/A



- シフトレバーリングを取りはずし、シフトレバーノブS/Aを取り外す。

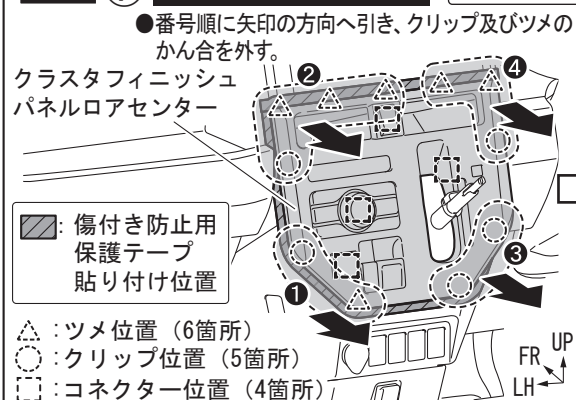
⚠注意

- ・シフトレバーリング変形の原因となるため、マイナスドライバー等を使用しないでください。
- ・シフトレバーリングを取り付けた際、図に示すシフトレバーリングの寸法Aを測定してください。
基準: 11.9~12.9mm
寸法Aが基準値から外れている場合はシフトレバーリングを新品に交換してください。

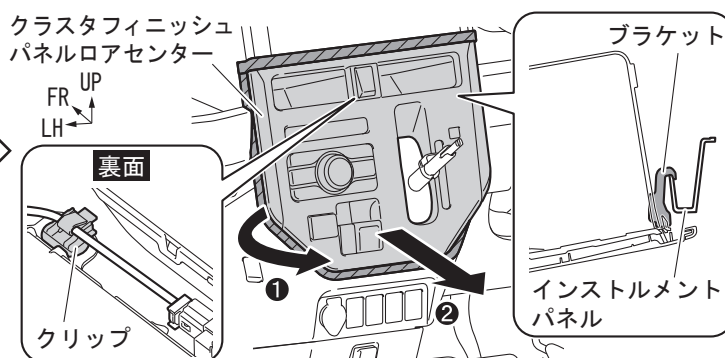
P6-3 ⑦

オートエアコン車の場合

コネクター取り外し後にクラスタフィニッシュパネルロアセンターを外します



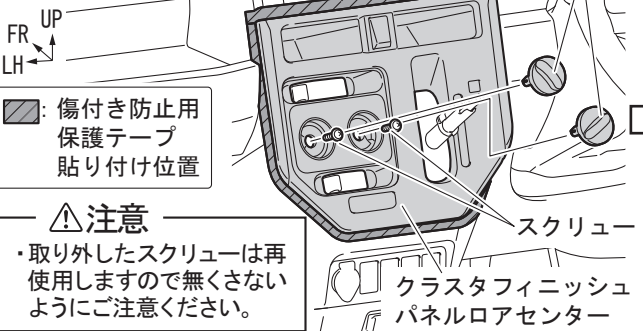
- 番号順に矢印の方向へ引き、クラスタフィニッシュパネルロアセンターを外す。



車両部品の取り外し要領

P7-1 ⑦ マニュアルエアコン車の場合

- コントロールノブS/A及びスクリー
ノブS/A
を外す。

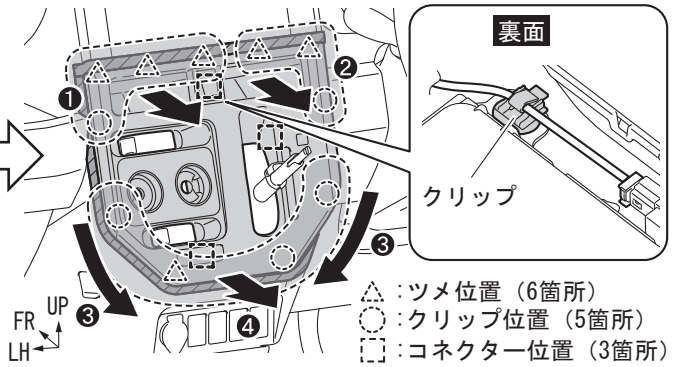


△注意

- ・取り外したスクリーは再使用しますので無くさないようにご注意ください。

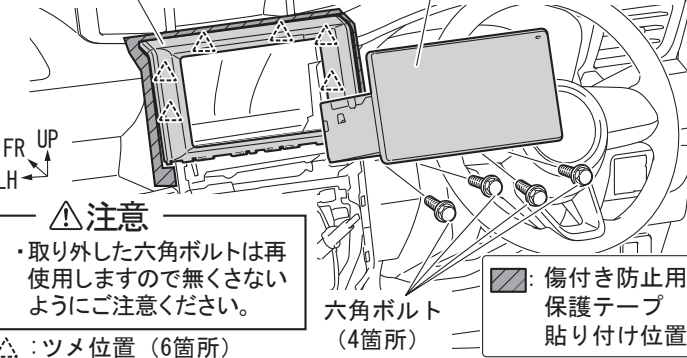
コネクター取り外し後にクラスタフィニッシュパネルロアセンターを外します

- 番号順に矢印の方向へ引き、クリップ及びツメのかん合を外す。



P7-2 ⑧ 9インチディスプレイオーディオ装着車

フィニッシュパネル 9インチディスプレイオーディオ

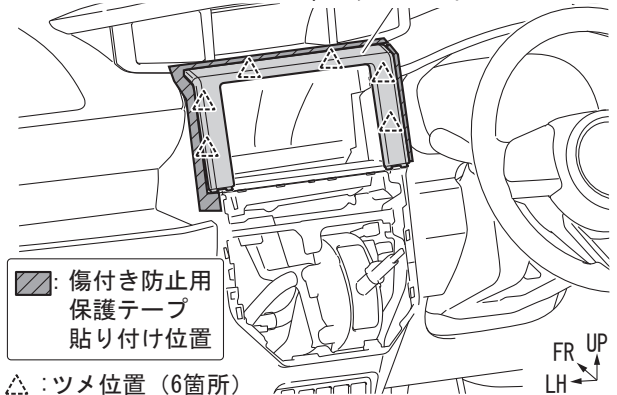


△注意

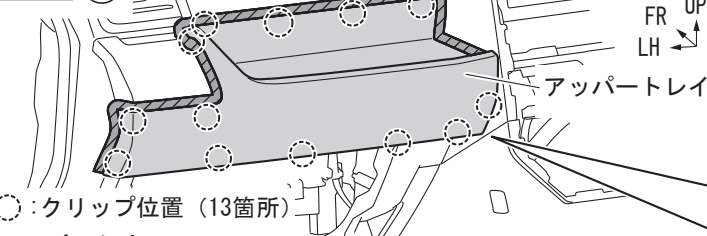
- ・取り外した六角ボルトは再使用しますので無くさないようにご注意ください。

オーディオレス車

フィニッシュパネル



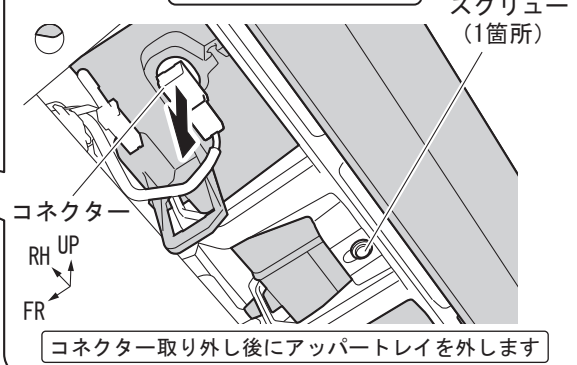
P7-3 ⑨



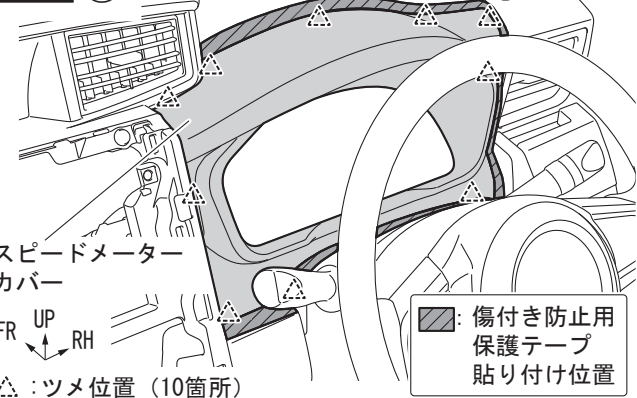
△注意

- ・取り外したスクリーは再使用しますので無くさないようにご注意ください。
- ・強く引くと、コネクター破損のおそれがあるため、ゆっくり取りはずしてください。

コネクターが有る場合

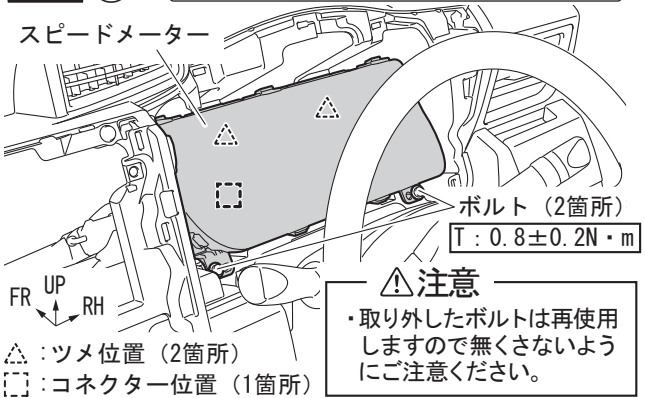


P7-4 ⑩

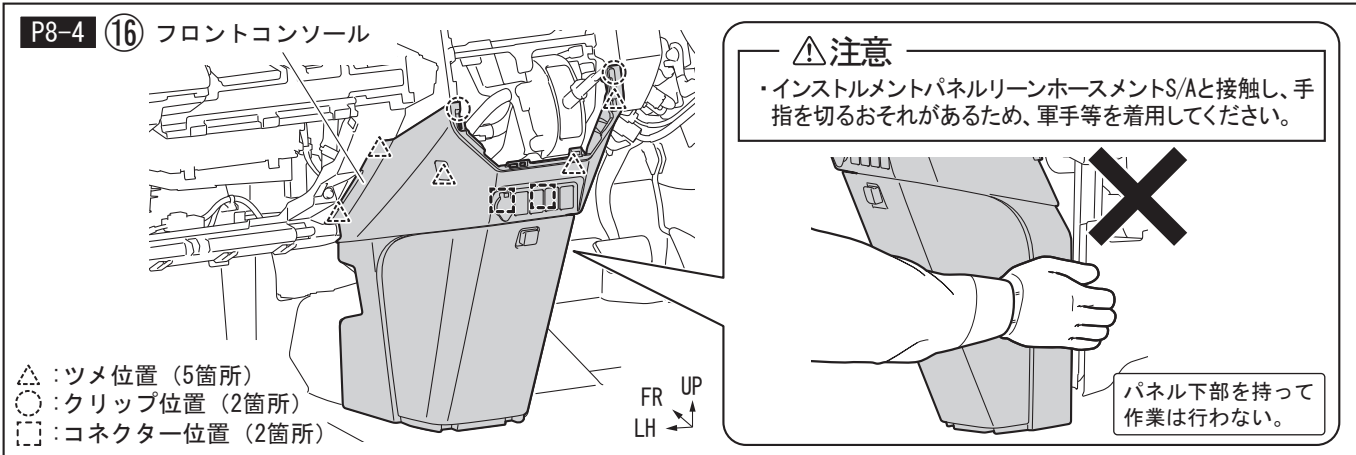
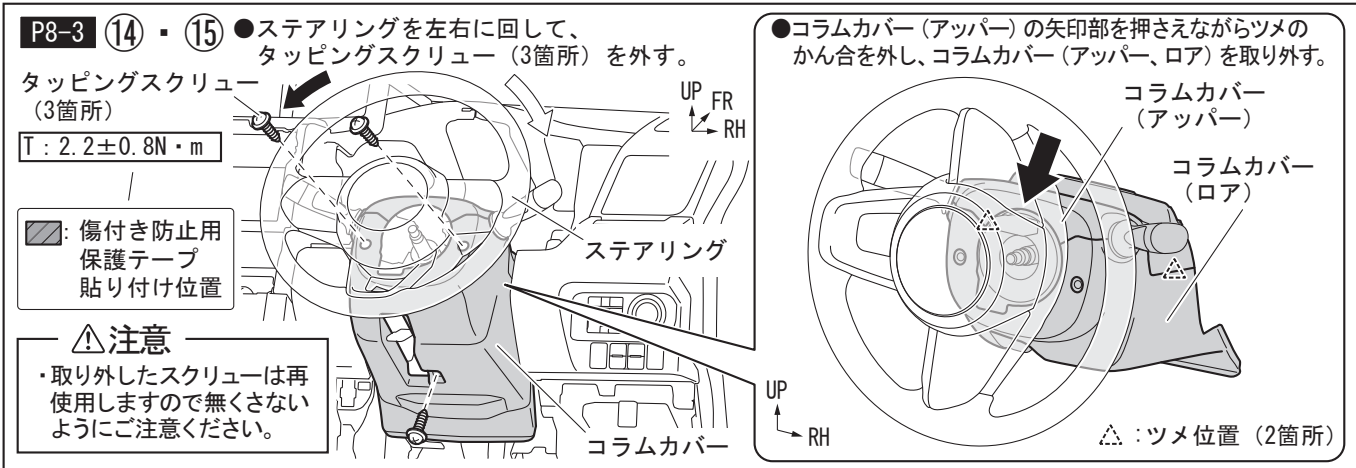
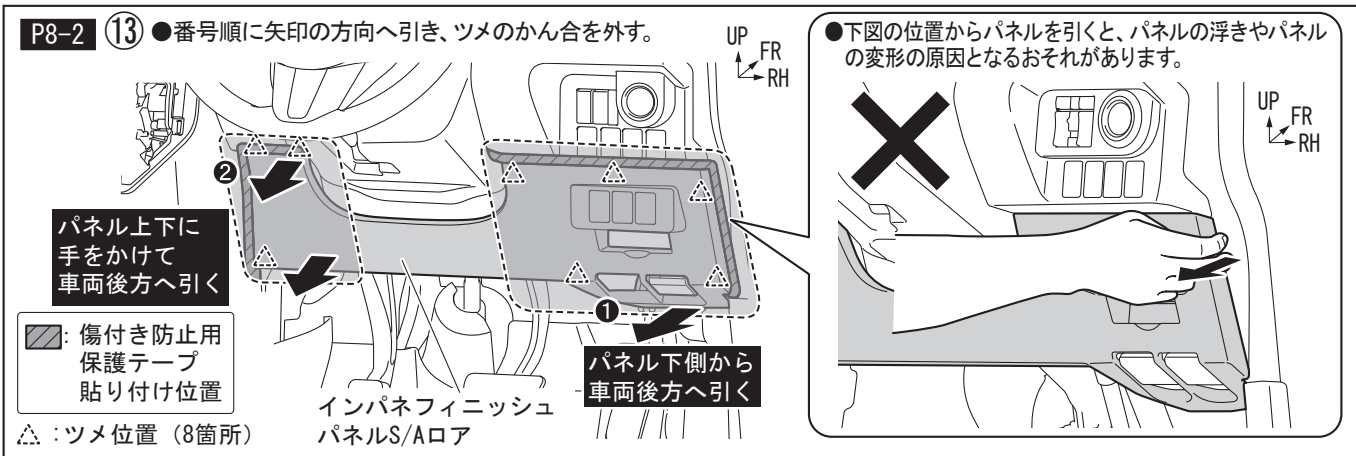
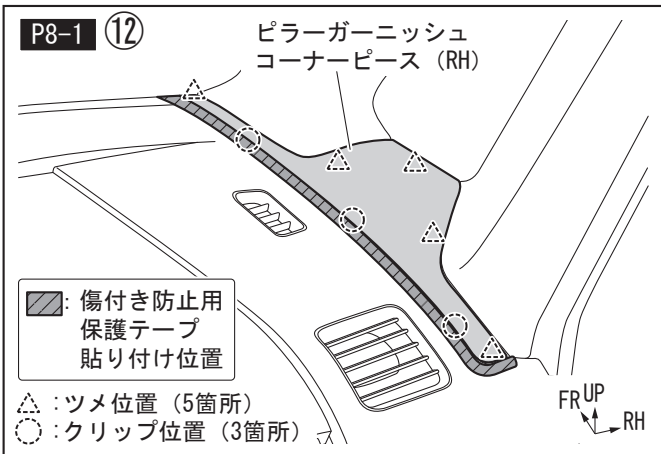


P7-5 ⑪

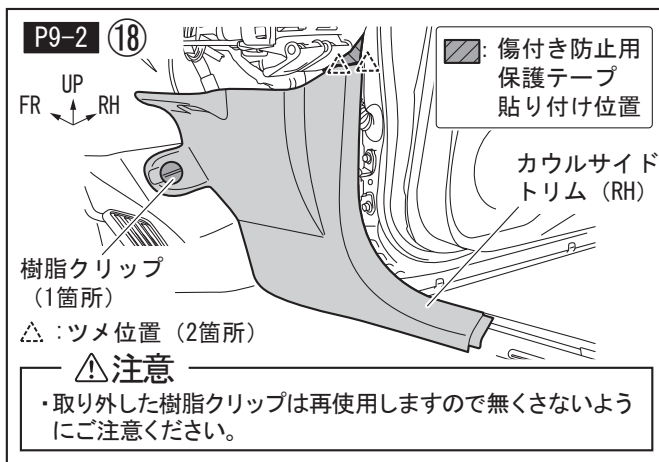
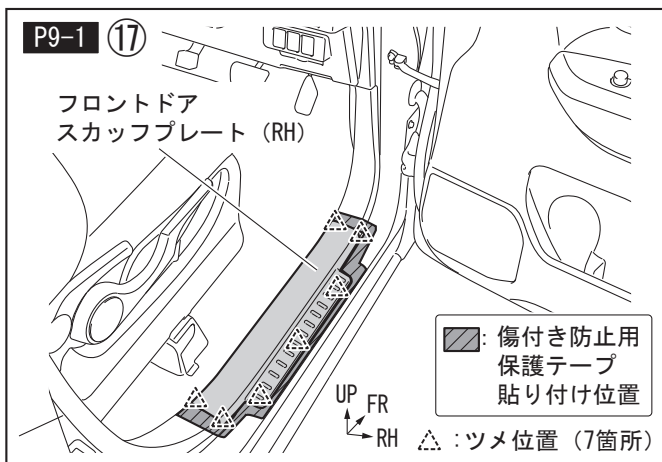
コネクター取り外し後にスピードメーターを外します



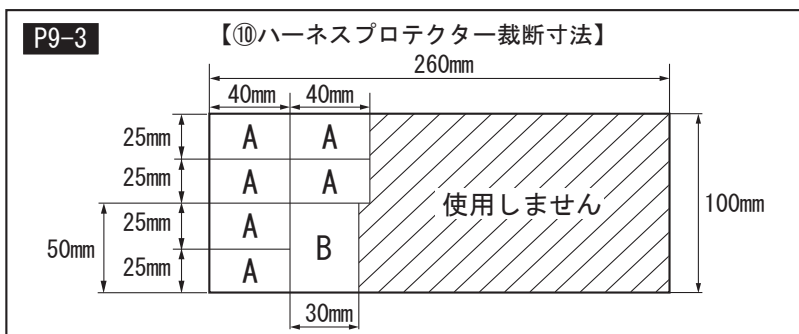
車両部品の取り外し要領



車両部品の取り外し要領



作業前準備

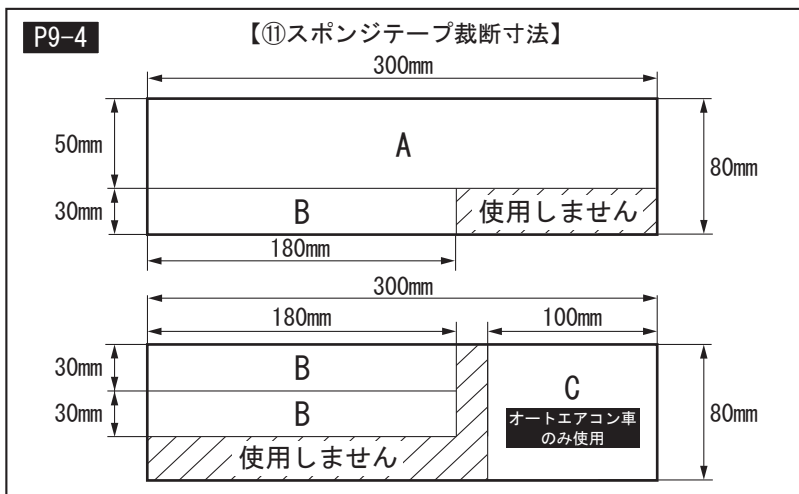


ハーネスプロテクターのカット

- (1) 左図寸法に⑩ハーネスプロテクターを裁断します。

△注意

- ・⑩ハーネスプロテクター裁断の際は、左図寸法に従い、ズレなどがないように慎重に作業を行ってください。

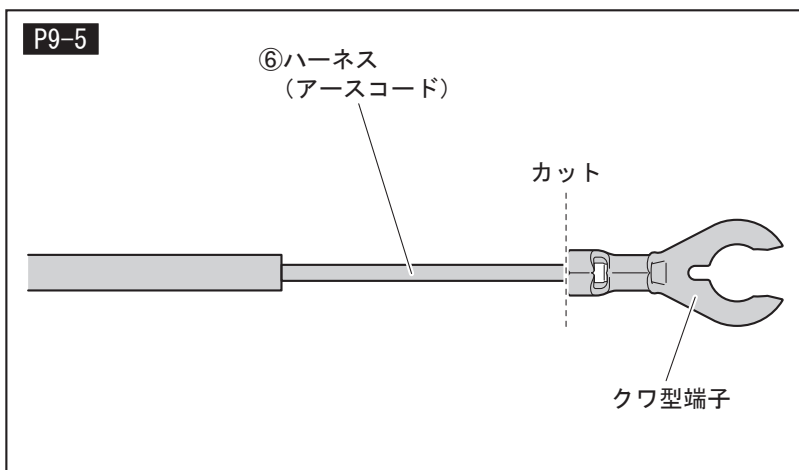


スポンジテープのカット

- (1) 左図寸法に⑪スポンジテープ (2枚) を裁断します。

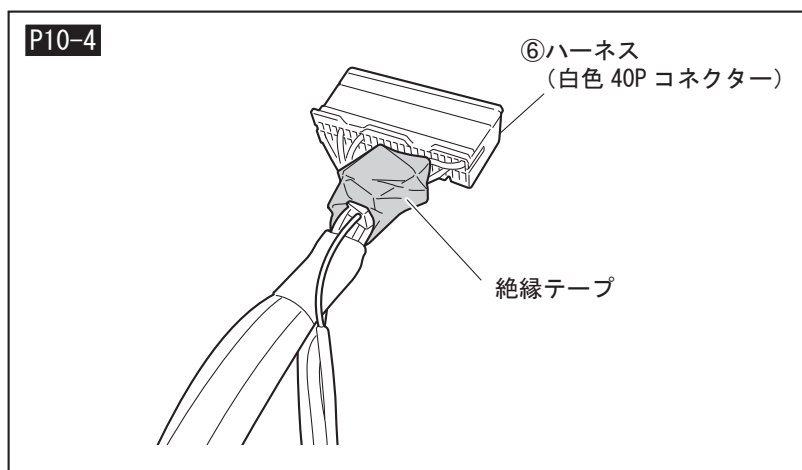
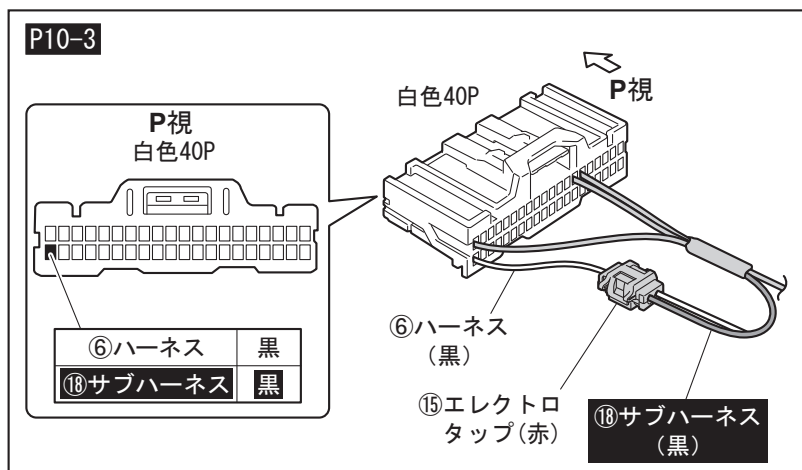
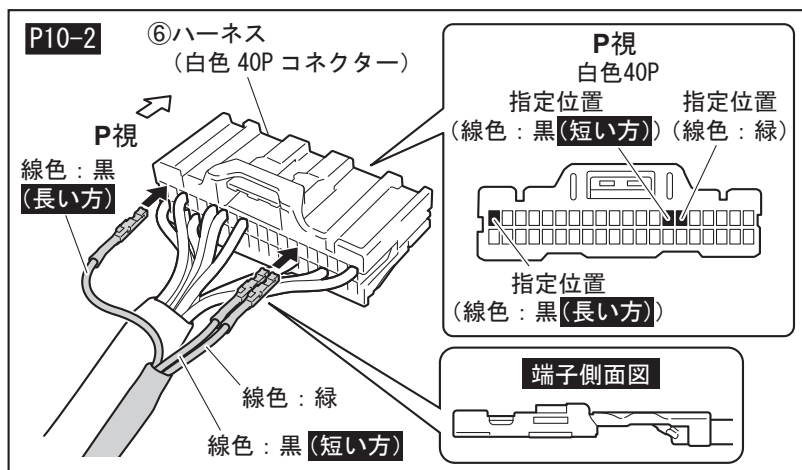
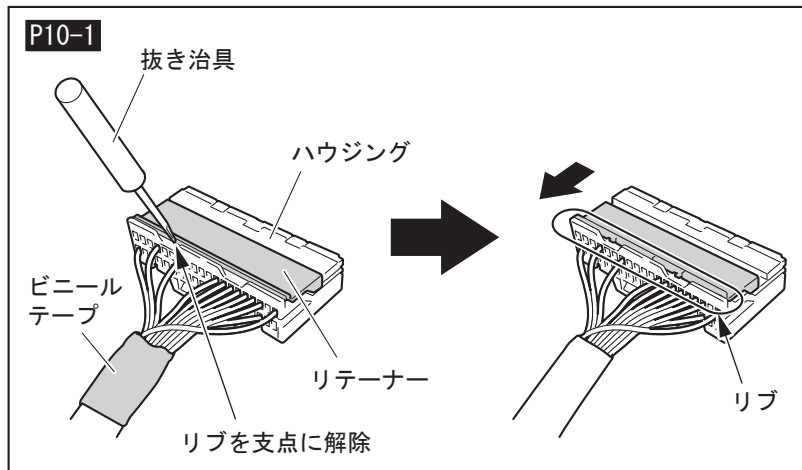
△注意

- ・⑪スポンジテープ裁断の際は、左図寸法に従い、ズレなどがないように慎重に作業を行ってください。



アースコードの加工

- (1) ⑥ハーネスのアースコード先端のクワ型端子を根本からカットします。



サブハーネスの加工

- (1) 左図を参照し、⑥ハーネスの白色40Pコネクタの首下のビニールテープを剥がします。
- (2) 左図を参照し、リテーナーとハウジングの隙間に治具の先端を入れ、リブを支点に⑥ハーネスの白色40Pコネクタのリテーナーを持ち上げます。
(左右2箇所)
- (3) 左図を参照し、リテーナーのリブを指で持って矢印の方に引き寄せ、左右のロックを外します。

- (4) ⑩サブハーネスの端子 (緑) および端子 (黒) を⑥ハーネスの白色40Pコネクタの指定位置に挿入し、リテーナーをロックします。

⚠注意

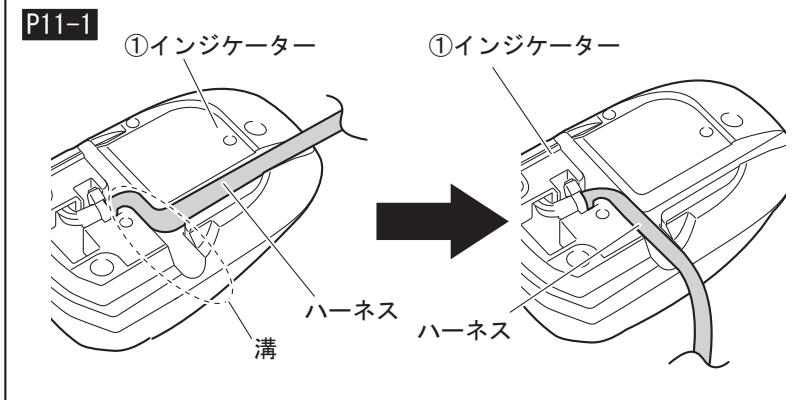
- ・端子は確実に接続してください。

- (5) ⑩サブハーネスの電線 (黒) を⑥ハーネスの白色40Pコネクタの図の位置【電線 (黒)】に⑮エレクトロタップ (赤) で接続します。

👉アドバイス

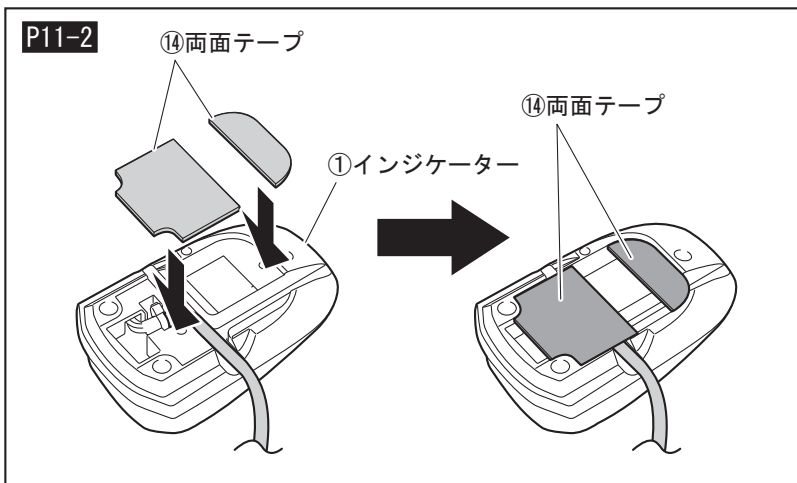
- ・エレクトロタップの接続作業は3ページをご参照ください。

- (6) 左図を参照し、⑮エレクトロタップ (赤) を絶縁テープで巻き付けます。



インジケーターの準備

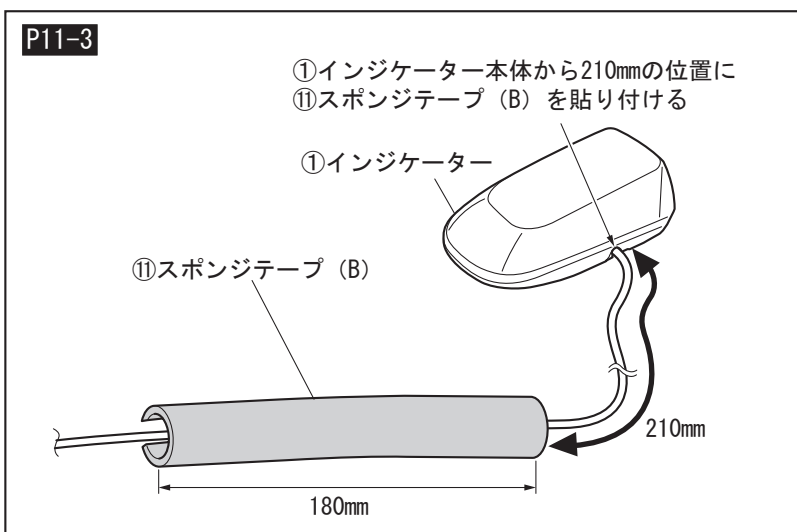
- (1) 左図を参照し、①インジケーターのハーネスを①インジケーター本体の溝に押し込みます。



- (2) ①インジケーターの⑭両面テープ貼り付け位置を脱脂剤等で脱脂します。
 (3) 左図を参照し、⑭両面テープを①インジケーター裏面に貼り付けます。

⚠注意

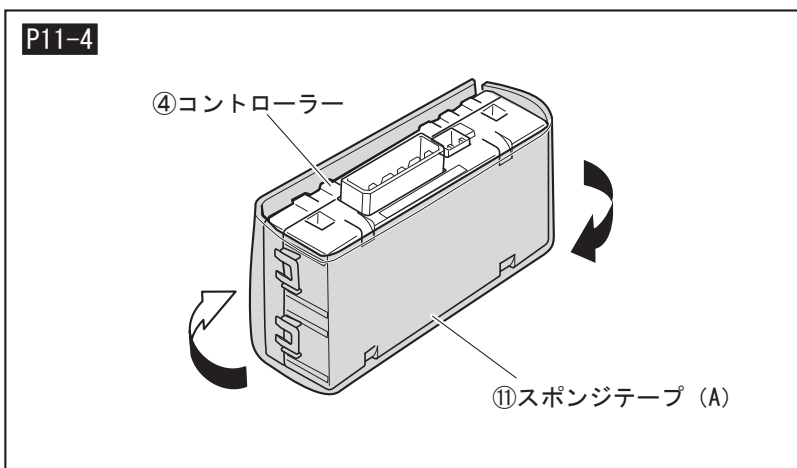
- ・ ⑭両面テープ接着時、環境温度が15℃以下の場合はドライヤー等で接着相手面および⑭両面テープを温めてください。
 (ドライヤー等で約30秒間、人肌(約40℃)程度を目安にしてください。)



- (4) 左図寸法を参照し、⑪スポンジテープ(B) 貼り付け位置を脱脂剤等で脱脂し、①インジケーターのハーネスに⑪スポンジテープ(B) (1枚) を貼り付けます。

⚠注意

- ・ ⑪スポンジテープ(B) (1枚) を貼り付ける際は左図寸法とズレがないように作業を行ってください。



コントローラーの準備

- (1) ④コントローラーに⑪スポンジテープ(A) (1枚) を貼り付けます。

P12-1

ピラーガーニッシュ
コーナーピース (LH)

穴あけ部

ピラーガーニッシュコーナーピース (LH) 裏面

穴あけ部 (φ4mm)

4mm

2.5mm

LH側ピラーガーニッシュコーナー
ピースのみ加工してください。

切り取り部

車両部品の加工

- (1) 左図寸法を参照し、ピラーガーニッシュコーナーピース (LH) 裏面に電動ドリル (φ4mm) で穴をあけます。

△注意

- ・穴をあける際は左図寸法とズレがないように注意してください。
- ・電動ドリルで穴あけ作業を行う際は、保護メガネを着用し、手袋は着用しないでください。(手袋が回転部に巻き込まれケガの原因になります。)

- (2) 穴あけ部からニッパーなどでピラーガーニッシュコーナーピース (LH) を切り取り、切り取り部のバリを取り除きます。

- (3) 左図寸法を参照し、ピラーガーニッシュコーナーピース (RH/LH) の裏面のリブを切り取ります。

P12-2

リブを切り取る

ピラーガーニッシュ
コーナーピース (LH) 裏面

リブを切り取る

ピラーガーニッシュ
コーナーピース (RH) 裏面

インジケータの取り付け

P12-3

ダクト端末 (頂点) から
15mmの位置

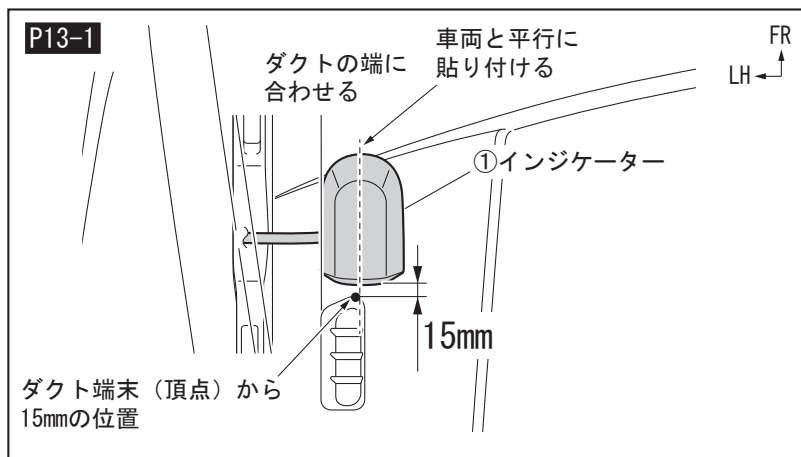
FR
LH

15mm

①インジケータ取り付け位置

ダクト

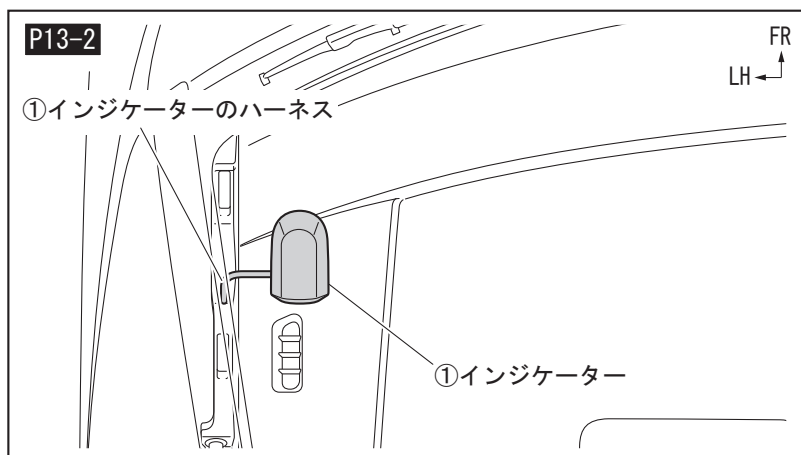
- (1) 左図を参照し、①インジケータの取り付け位置周辺を脱脂剤等で脱脂します。



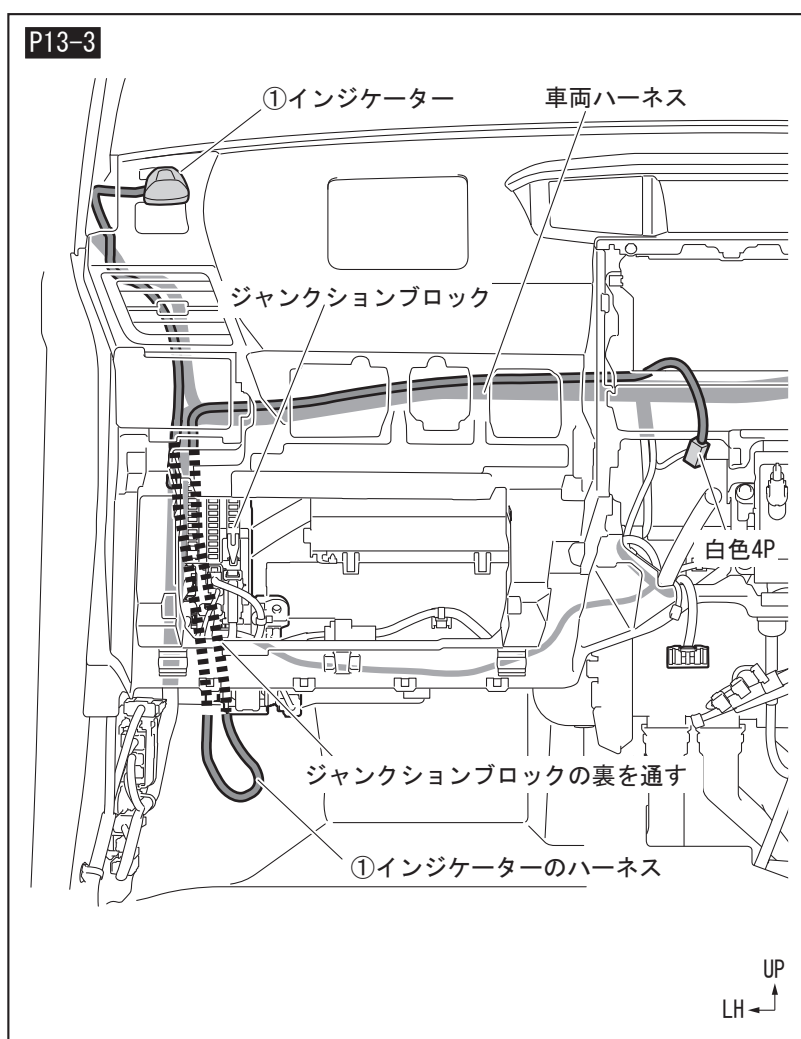
(2) 左図寸法を参照し、⑭両面テープの剥離紙をめくり、インストルメントパネルに①インジケーターを貼り付けます。

⚠注意

- ・①インジケーターの貼り付けの際は左図寸法とズレがないように慎重に作業を行ってください。
- ・⑭両面テープ接着時、環境温度が15℃以下の場合はドライヤー等で接着相手面および⑭両面テープを温めてください。
(ドライヤー等で約30秒間、人肌(約40℃)程度を目安にしてください。)



(3) 左図を参照し、①インジケーターのハーネスをAピラーからインストルメントパネル内へ配線します。



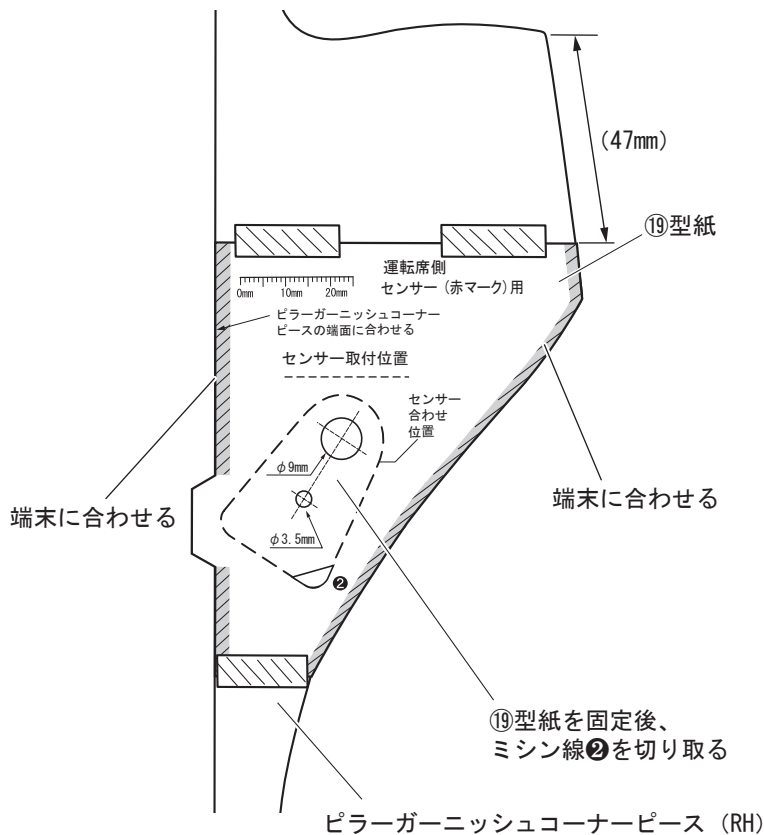
(4) 左図を参照し、①インジケーターのハーネスをジャンクションブロックの裏に通し、車両ハーネスに沿って仮配線します。

センサーの取り付け及び接続

⚠注意

- ・ センサーは、白マーク、赤マークの2種類があり、ピラーガーニッシュコーナーピース (RH/LH) で取り付けるセンサーが異なります。

P14-1 ピラーガーニッシュコーナーピース (RH)



ピラーガーニッシュコーナーピースの穴あけ加工

- (1) ⑱型紙をミシン線①に沿って外形を切り抜きます。

⚠注意

- ・ ミシン線②はまだ切り抜きません。(3)のケガキ針でマーキングしてからの作業です。

- (2) 左図を参照し、ピラーガーニッシュコーナーピース (RH/LH) に⑱型紙を合わせ、マスキングテープ等で固定します。

⚠注意

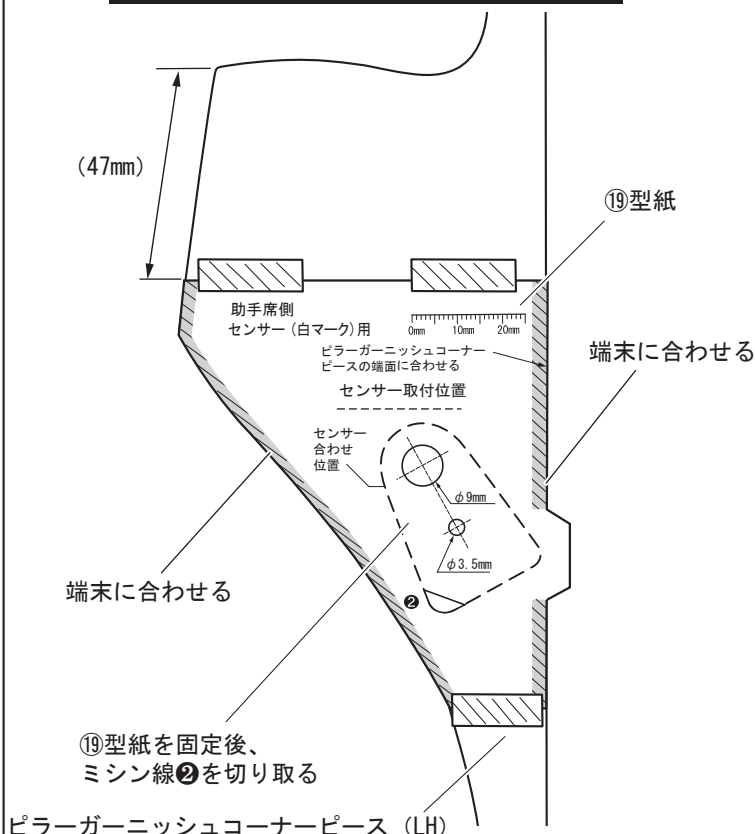
- ・ ⑱型紙貼り付けの際は合わせ位置とズレがないように貼り付けてください。
- ・ RHとLHを間違わないよう確認して貼り付けてください。

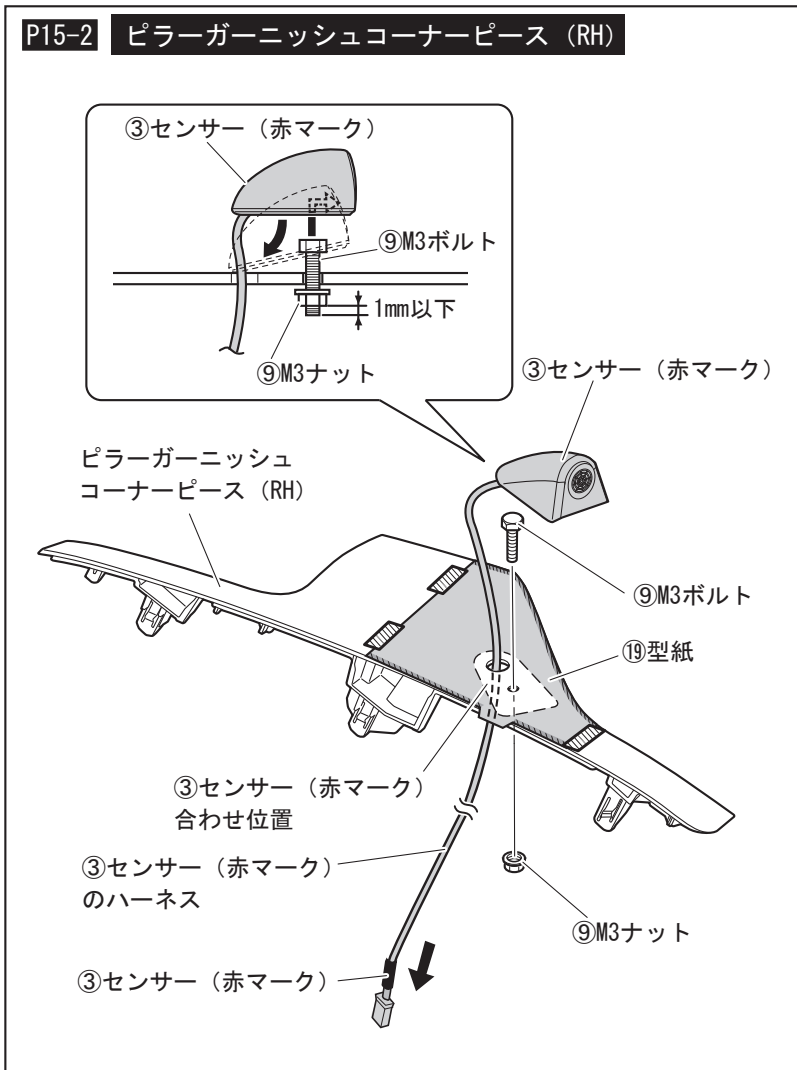
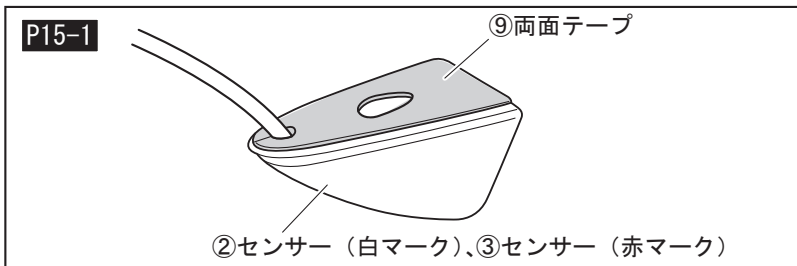
- (3) ⑱型紙のφ3.5mm穴、φ9mm穴の中心部にケガキ針でマーキングします。
- (4) ⑱型紙を貼り付けたまま、ミシン線②に沿って⑱型紙を切り抜きます。
- (5) ドリルでφ3.5mm、φ9mmの穴をあけます。

⚠注意

- ・ ドリルで穴あけ作業を行う際は、保護メガネを着用し、手袋は着用しないでください。(手袋が回転部に巻き込まれケガの原因になります。)
- ・ 穴2つの穴あけ寸法を間違わないように気を付けてください。

P14-2 ピラーガーニッシュコーナーピース (LH)



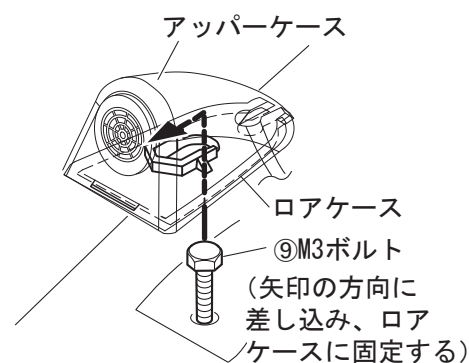


センサーの取り付け

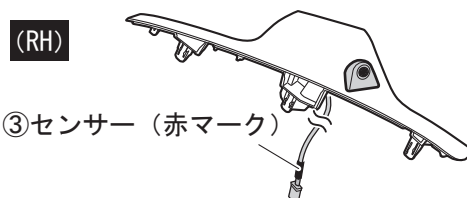
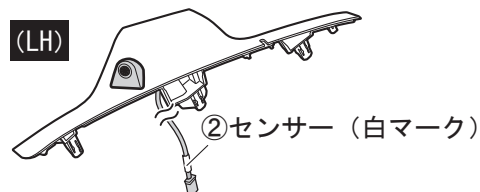
- (1) ②センサー (白マーク)、③センサー (赤マーク) の⑨両面テープ貼り付け位置を脱脂剤等で脱脂し、⑨両面テープ片側の剥離紙を剥がし、貼り付けます。
- (2) ピラーガーニッシュコーナーピース (RH) の③センサー (赤マーク) 貼り付け位置を脱脂剤等で脱脂します。
- (3) 左図を参照し、⑨M3ボルトおよび⑨M3ナットをφ3.5mm加工穴に仮止めします。
- (4) φ9mm加工穴に③センサー (赤マーク) のハーネスを通します。
- (5) ⑨両面テープの剥離紙を剥がし、③センサー (赤マーク) を仮止めした⑨M3ボルトにスライドして差し込み、⑩型紙位置に合わせながら、ピラーガーニッシュコーナーピース (RH) に貼り付けます。

⚠注意

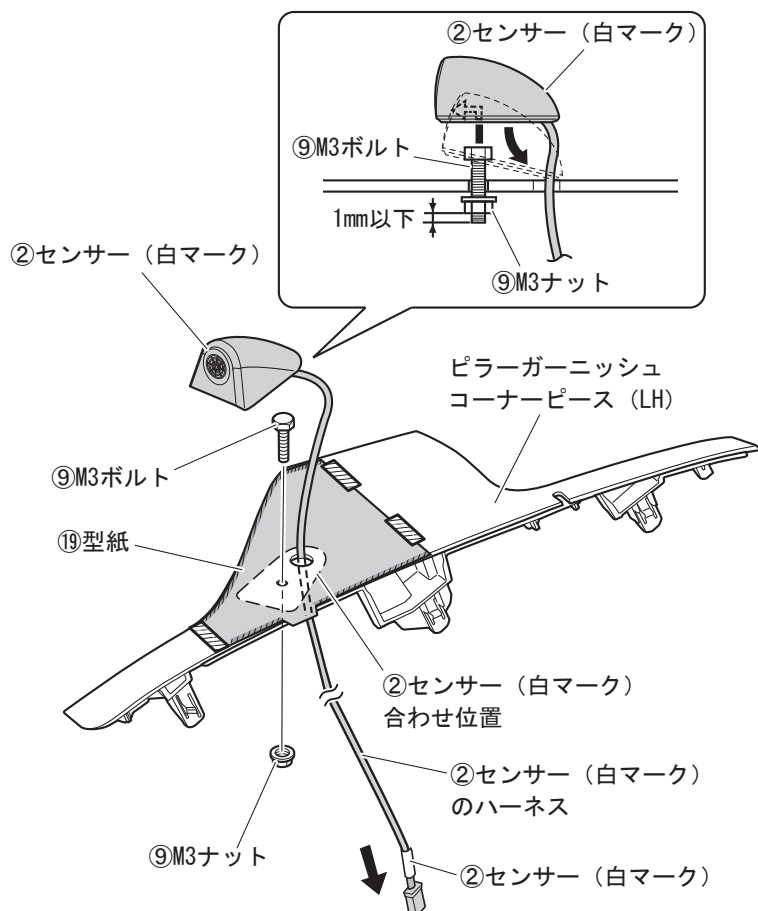
- ・ ⑨M3ボルトを仮止めしてから矢印のように差し込み、ロアケースのホルダーにスライドして固定します。



- ・ ピラーガーニッシュコーナーピース (RH/LH) で取り付けるセンサーが異なります。取り付けるセンサーを間違えないようにしてください。(マークの色参照)
間違えた場合、検知性能に影響が出る場合があります。



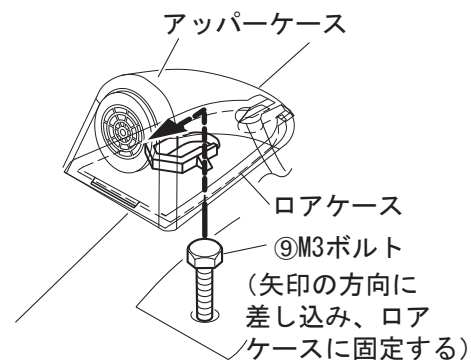
P16-1 ピラーガーニッシュコーナーピース (LH)



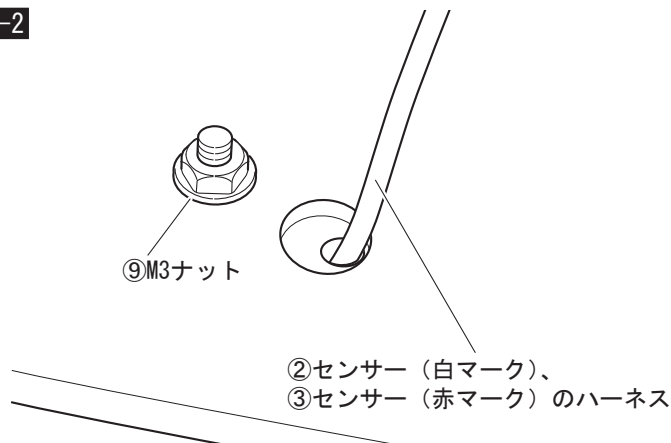
- (6) ピラーガーニッシュコーナーピース (LH) の②センサー (白マーク) 貼り付け位置を脱脂剤等で脱脂します。
- (7) 左図を参照し、⑨M3ボルトおよび⑨M3ナットをφ3.5mm加工穴に仮止めします。
- (8) φ9mm加工穴に②センサー (白マーク) のハーネスを通します。
- (9) ⑨両面テープの剥離紙を剥がし、②センサー (白マーク) を仮止めした⑨M3ボルトにスライドして差し込み、⑩型紙位置に合わせながら、ピラーガーニッシュコーナーピース (LH) に貼り付けます。

⚠注意

- ・ ⑨M3ボルトを仮止めしてから矢印のように差し込み、ロアケースのホルダーにスライドして固定します。



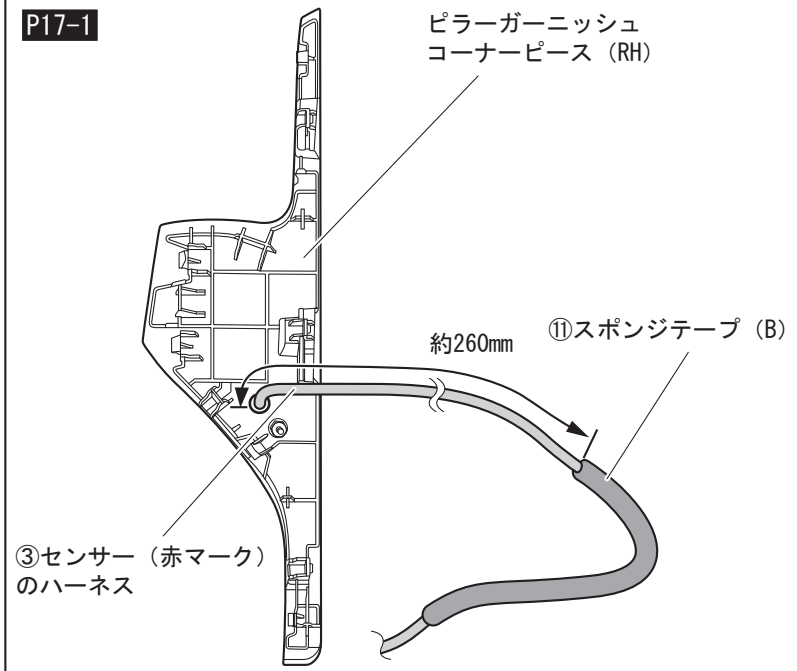
P16-2



- (10) ⑨M3ナットでピラーガーニッシュコーナーピース (RH/LH) の②センサー (白マーク)、③センサー (赤マーク) を本締めして固定し、⑩型紙をはずします。

⚠注意

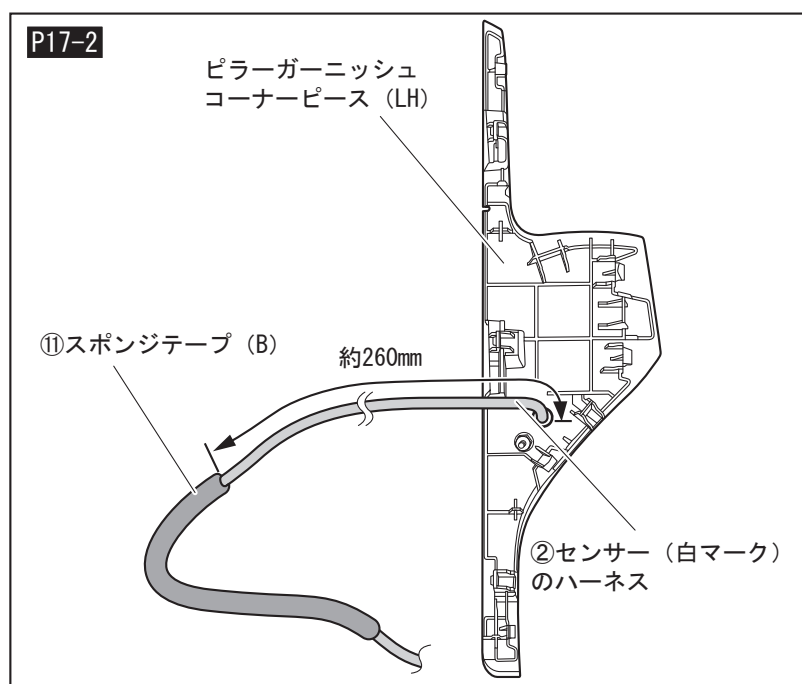
- ・ ②センサー (白マーク)、③センサー (赤マーク) にガタツキなど無いよう、固定は確実に行ってください。



(11) 左図寸法を参照し、⑪スポンジテープ (B) 貼り付け位置を脱脂剤等で脱脂し、③センサー (赤マーク) のハーネスに⑪スポンジテープ (B) (1枚) を貼り付けます。

△注意

- ・ ⑪スポンジテープ (B) (1枚) を貼り付ける際は左図寸法とズレがないように作業を行ってください。



(12) 左図寸法を参照し、⑪スポンジテープ (B) 貼り付け位置を脱脂剤等で脱脂し、②センサー (白マーク) のハーネスに⑪スポンジテープ (B) (1枚) を貼り付けます。

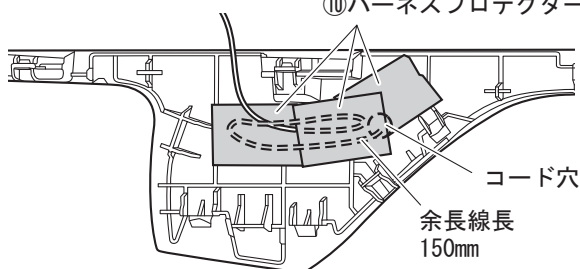
△注意

- ・ ⑪スポンジテープ (B) (1枚) を貼り付ける際は左図寸法とズレがないように作業を行ってください。

P18-1 ピラーガーニッシュコーナーピース (RH)

ピラーガーニッシュコーナーピース (RH) 裏面

⑩ハーネスプロテクター (A)



余長箇所

③センサー (赤マーク)
のハーネス

⑩ハーネス
プロテクター (A)

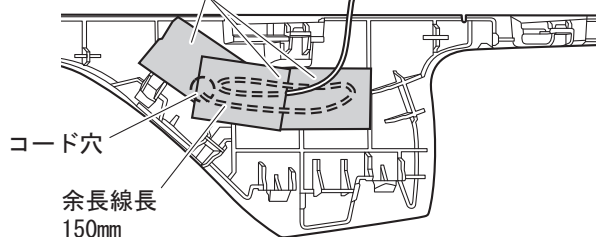
⑨M3ボルト、M3ナット

UP
FR → RH

ピラーガーニッシュコーナーピース (LH)

ピラーガーニッシュコーナーピース (LH) 裏面

⑩ハーネスプロテクター (A)



②センサー (白マーク)
のハーネス

余長箇所

⑩ハーネス
プロテクター (A)

⑨M3ボルト、M3ナット

UP
FR
LH →

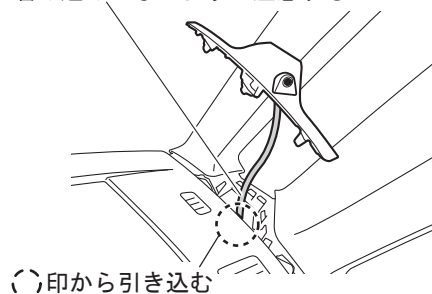
- (13) ピラーガーニッシュコーナーピース (RH) 裏側の③センサー (赤マーク) のハーネスと⑨M3ボルト、M3ナット部の突起部の干渉を避けるため、⑩ハーネスプロテクター (A) (1枚) の貼り付け位置を脱脂剤等で脱脂し、ピラーガーニッシュコーナーピース (RH) に貼り付けます。
- (14) ピラーガーニッシュコーナーピース (RH) のコード穴から③センサー (赤マーク) のハーネス150mm分を束ね、⑩ハーネスプロテクター (A) (2枚) の貼り付け位置を脱脂剤等で脱脂し、ピラーガーニッシュコーナーピース (RH) に貼り付けます。
- (15) ③センサー (赤マーク) のハーネスをインストルメントパネル内へ配線します。
- (16) ピラーガーニッシュコーナーピース (RH) を復元します。

⚠注意

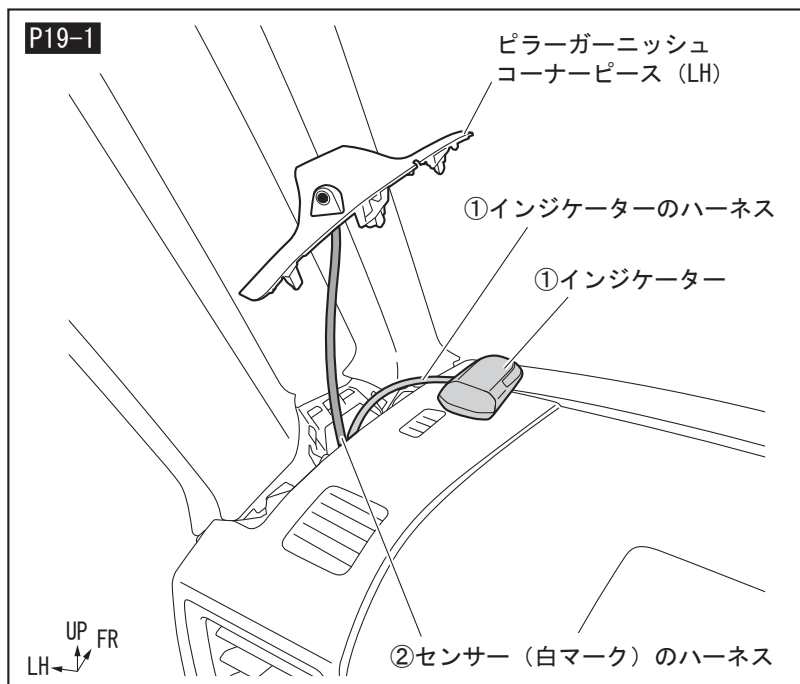
- ・ ピラーガーニッシュコーナーピース (RH) を復元の際、③センサー (赤マーク) のハーネスがピラーガーニッシュコーナーピース (RH) およびダッシュボードに噛み込まないように注意してください。

ピラーガーニッシュコーナーピース (RH)

噛み込みのないように注意する



- (17) (13) ~ (15) と同要領で②センサー (白マーク) のハーネスを配線します。



- (18) ピラーガーニッシュコーナーピース (LH) の加工穴に①インジケータのハーネスを通し、ピラーガーニッシュコーナーピース (LH) を復元します。

⚠注意

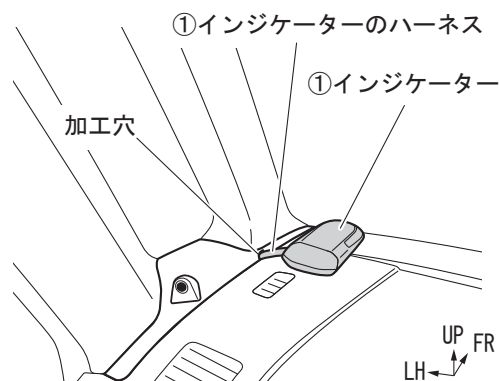
- ・ピラーガーニッシュコーナーピース (LH) を復元の際、②センサー (白マーク) のハーネスがピラーガーニッシュコーナーピース (LH) およびダッシュボードに噛み込まないように注意してください。

ピラーガーニッシュコーナーピース (LH)

噛み込みのないように注意する

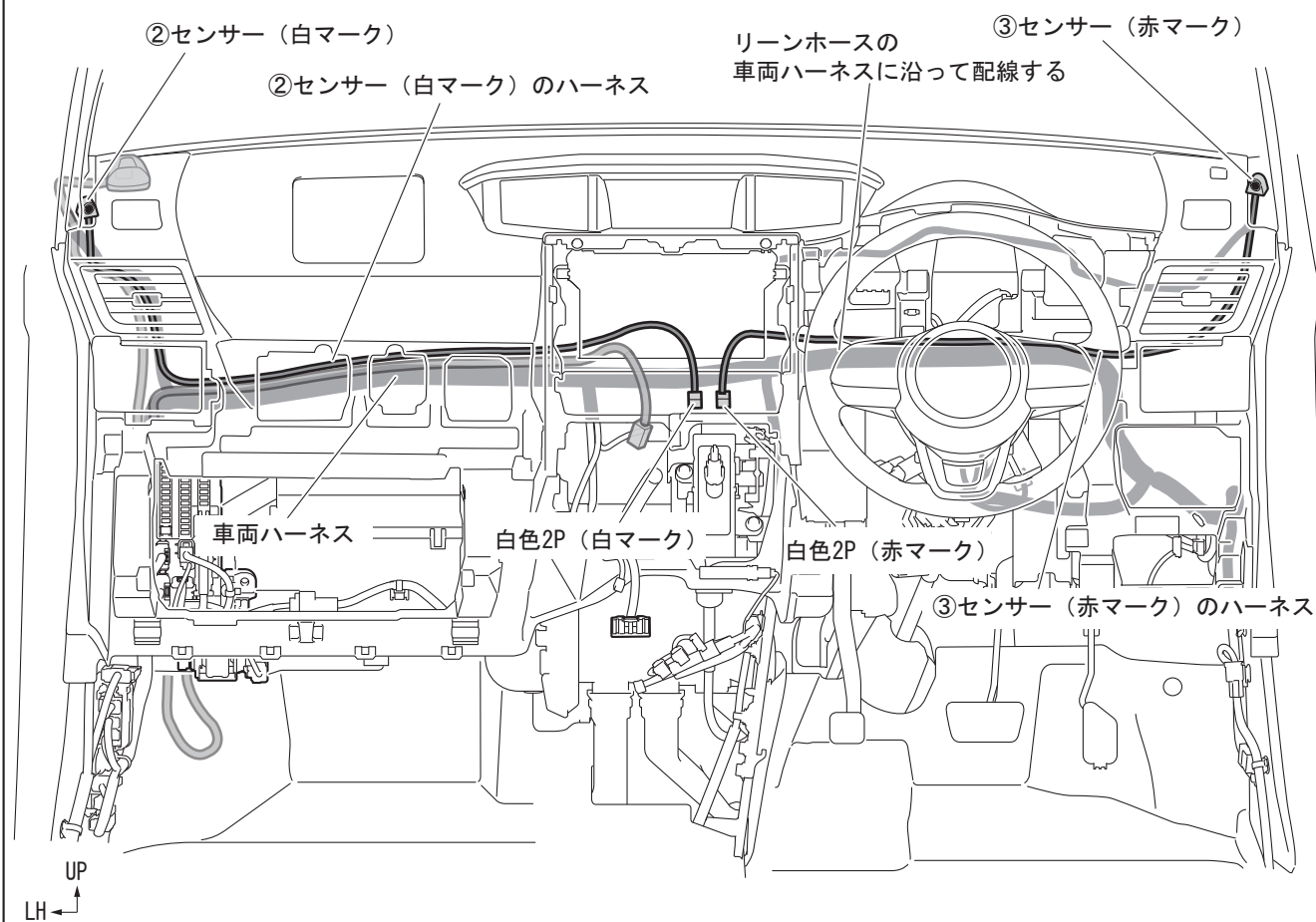


- ・ピラーガーニッシュコーナーピース (LH) を復元の際、①インジケータのハーネスを加工穴に通すことを忘れずに作業してください。また、①インジケータのハーネスがピラーガーニッシュコーナーピース (LH) のリブと、車両部品に挟み込まれないように注意して復元してください。



センサーハーネスの仮配線

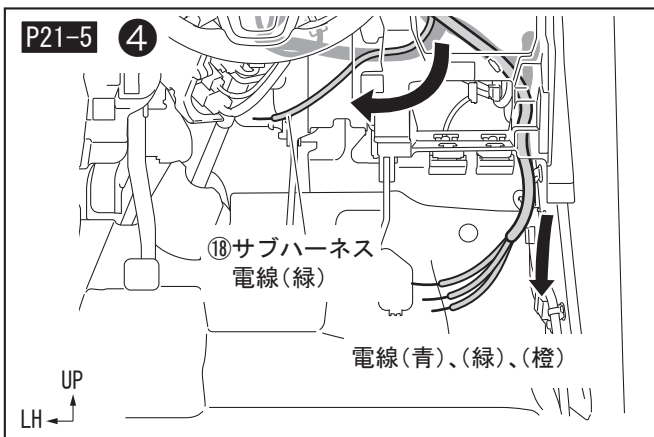
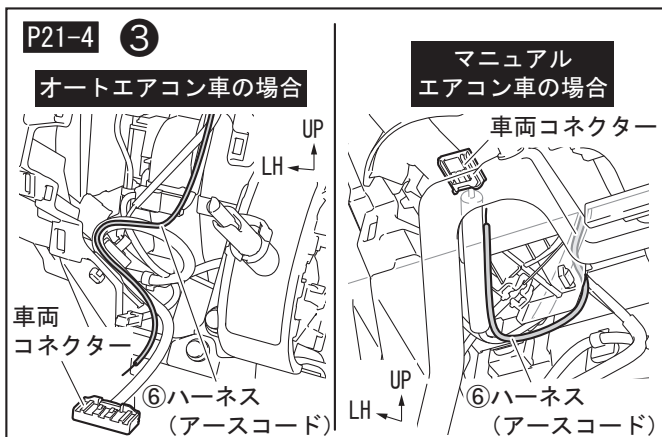
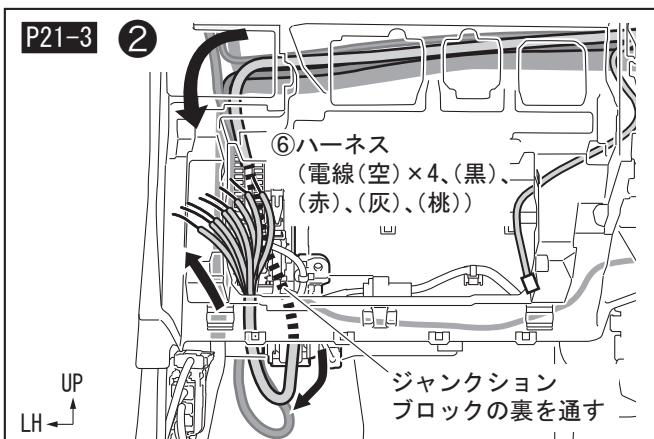
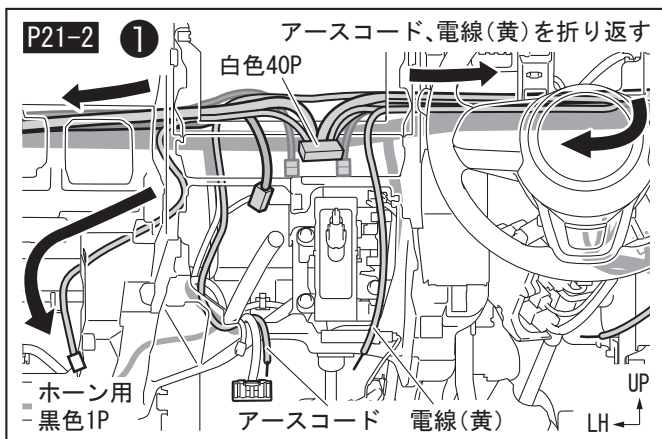
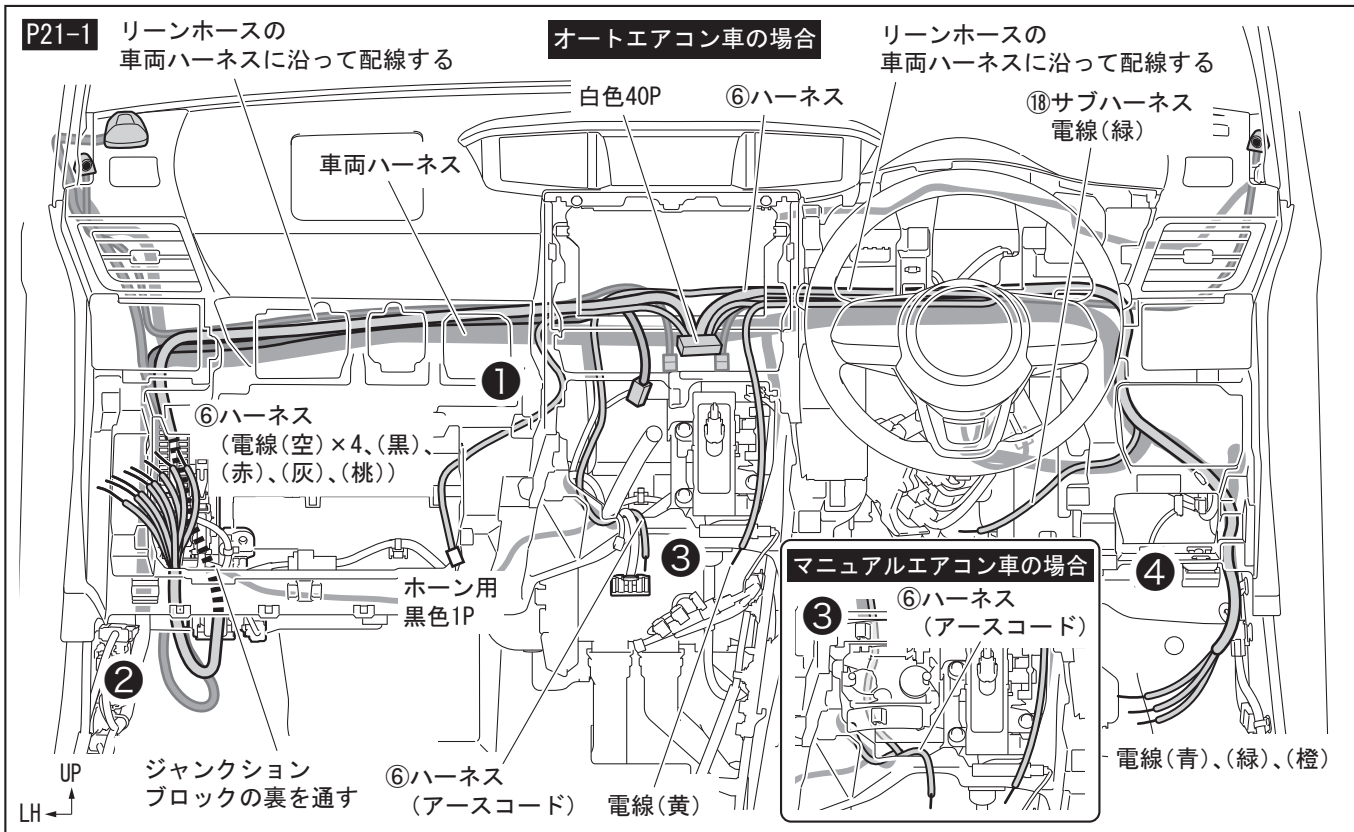
P20-1 ②センサー（白マーク）、③センサー（赤マーク）のハーネスをオーディオ開口部まで仮配線します。



ハーネスの仮配線

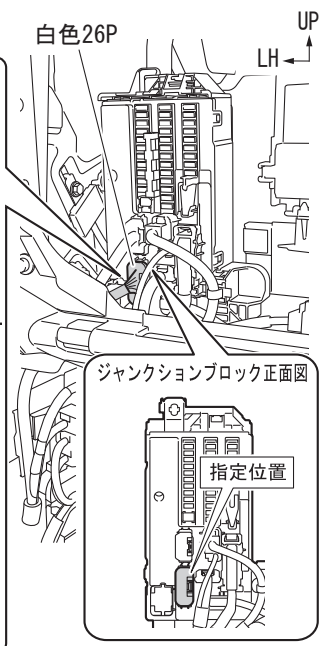
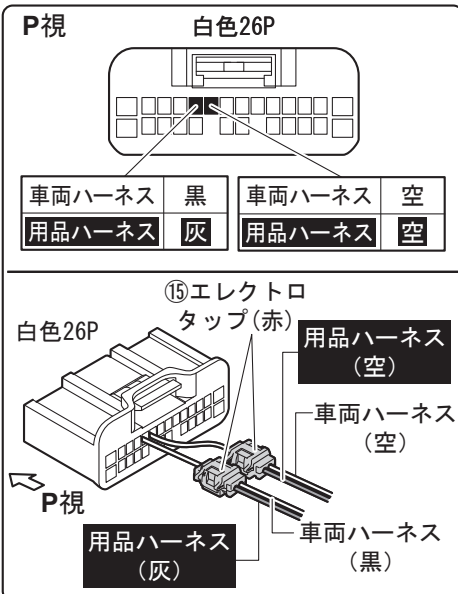
⚠注意

- ・⑥ハーネスの仮配線はオーディオ開口部付近から④コントローラーに接続するための線長を残し、リーンホース沿いの車両ハーネスとグローブボックスに繋がる車両ハーネス沿いに配線してください。



ハーネスの配線

P22-1



ジャンクションブロックの配線 (助手席側)

- (1) ジャンクションブロックの白色26Pコネクタを取り外します。
- (2) ⑥ハーネスの電線 (灰) を白色26Pコネクタの図の位置【電線 (黒)】に⑮エレクトロタップ (赤) で接続します。

アドバイス

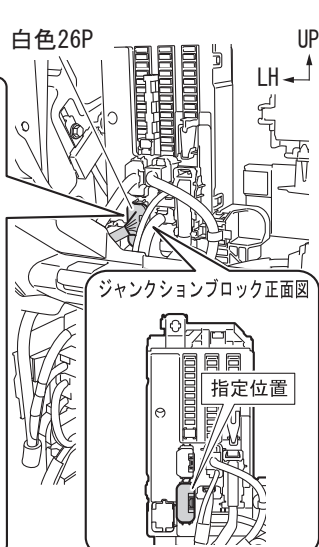
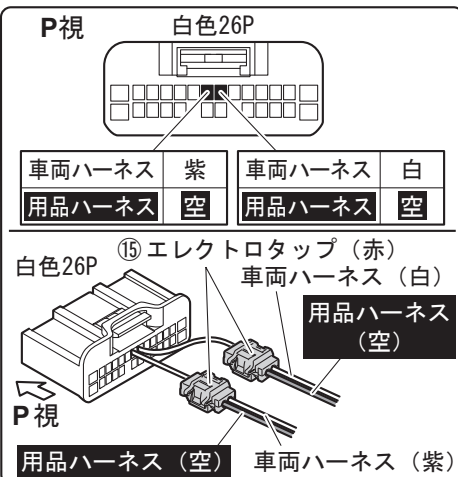
- ・エレクトロタップの接続作業は3ページをご参照ください。(以下同様)

- (3) ⑥ハーネスの電線 (空) を白色26Pコネクタの図の位置【電線 (空)】に⑮エレクトロタップ (赤) で接続します。

アドバイス

- ・⑥ハーネスの電線 (空) は4本の内、任意の1本を選んで接続してください。

P22-2

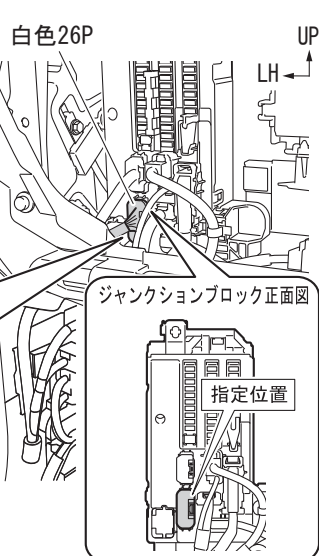
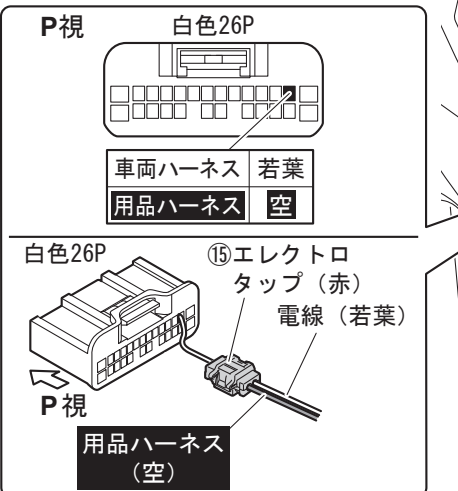


- (4) ⑥ハーネスの電線 (空) (2本) を白色26Pコネクタの図の位置【電線 (紫)、(白)】に⑮エレクトロタップ (赤) で接続します。

アドバイス

- ・⑥ハーネスの電線 (空) は3本の内、任意の2本を選んで接続してください。

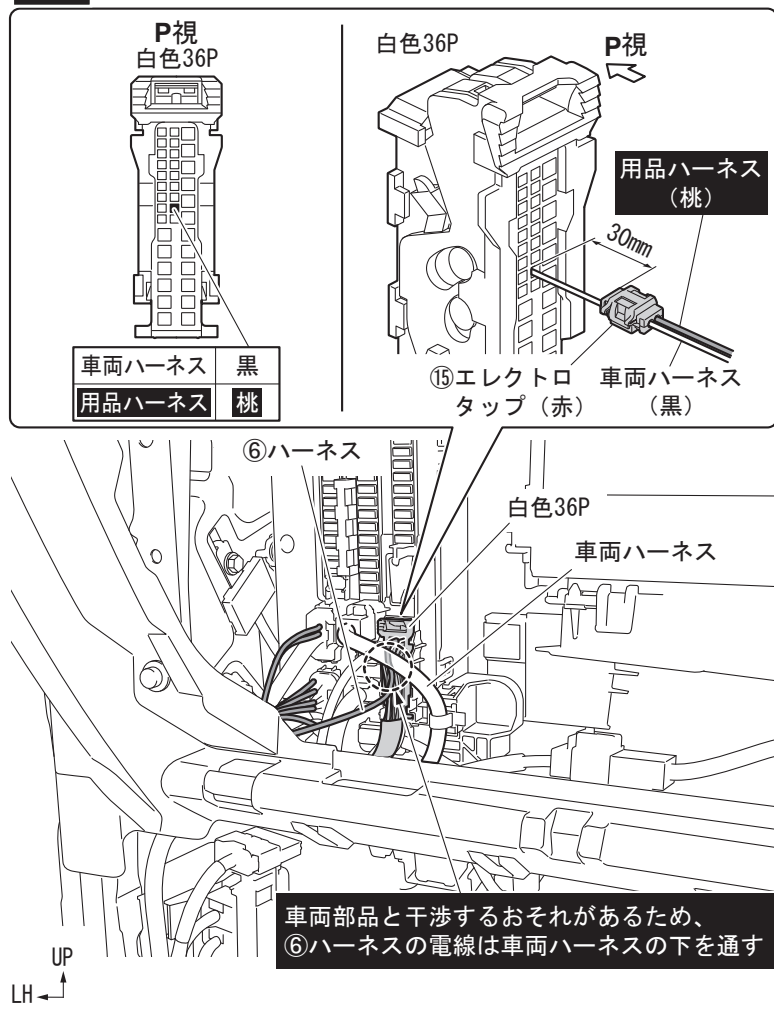
P22-3



- (5) ⑥ハーネスの電線 (空) を白色26Pコネクタの図の位置【電線 (若葉)】に⑮エレクトロタップ (赤) で接続します。
- (6) 白色26Pコネクタを復元します。

ハーネスの配線

P23-1



ジャンクションブロックの配線 (助手席側)

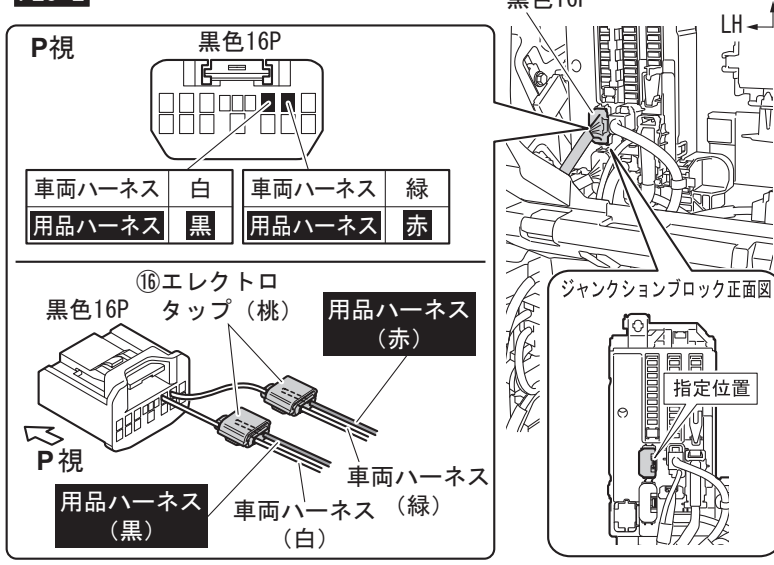
- (1) ⑥ハーネスの電線 (桃) を白色36Pコネクタの図の位置【電線 (黒)】に⑮エレクトロタップ (赤) で接続します。

⚠注意

- ・左図吹き出しを参照し、車両コネクタとの距離を確保し、⑮エレクトロタップ (赤) を接続してください。

- (2) 白色36Pコネクタを復元します。

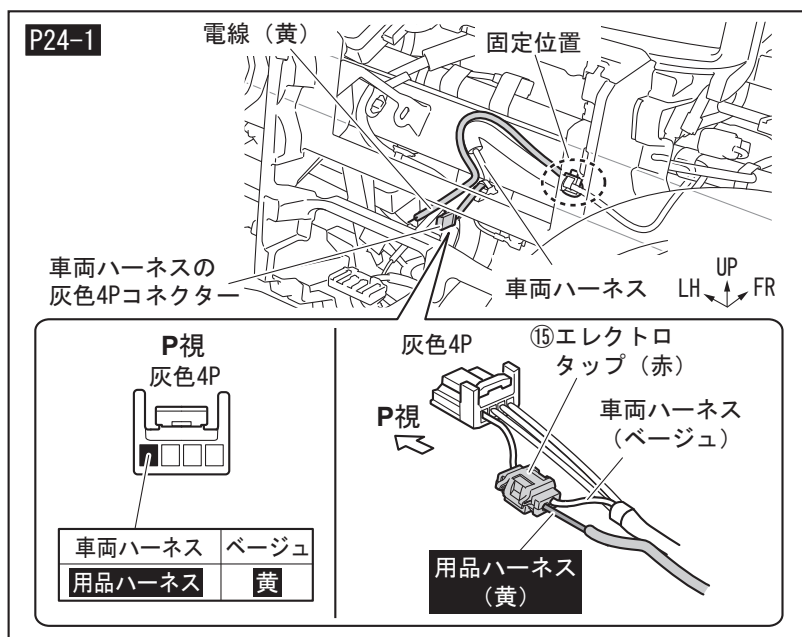
P23-2



ジャンクションブロックの配線 (助手席側)

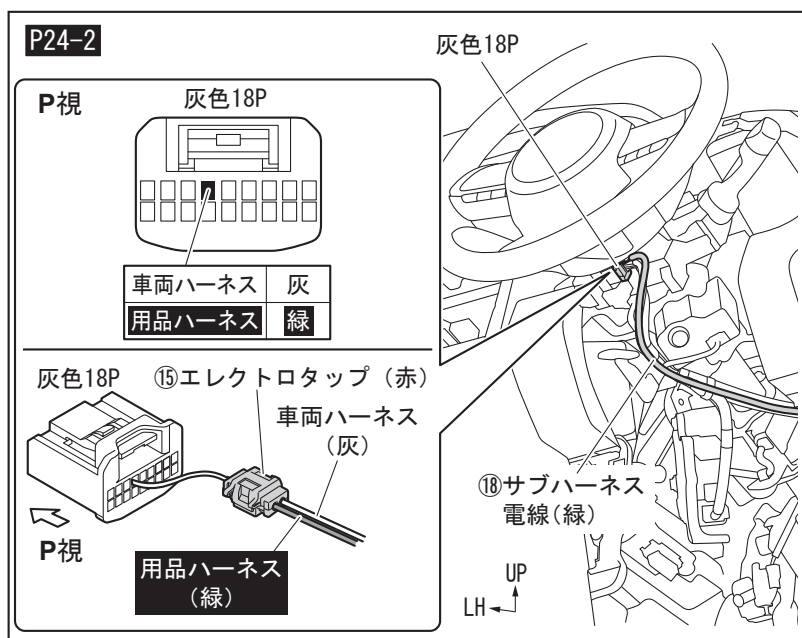
- (1) ジャンクションブロックの黒色16Pコネクタを取り外します。
- (2) ⑥ハーネスの電線 (黒) を黒色16Pコネクタの図の位置【電線 (白)】に⑯エレクトロタップ (桃) で接続します。
- (3) ⑥ハーネスの電線 (赤) を黒色16Pコネクタの図の位置【電線 (緑)】に⑯エレクトロタップ (桃) で接続します。
- (4) 黒色16Pコネクタを復元します。

ハーネスの配線



ハザードスイッチの配線

- (1) ⑥ハーネスの電線(黄)を灰色4Pコネクタの図の位置【電線(ベージュ)】に⑮エレクトロタップ(赤)で接続します。

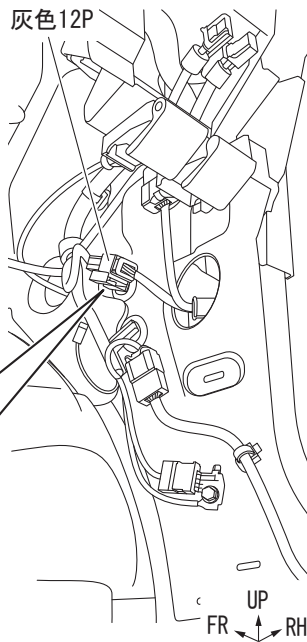
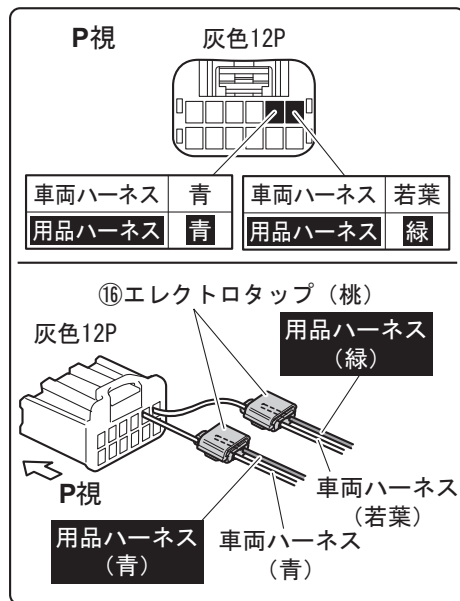


ホーン信号の配線

- (1) 車両ハーネスの灰色18Pコネクタを取り外します。
- (2) ⑱サブハーネスの電線(緑)を灰色18Pコネクタの図の位置【電線(灰)】に⑮エレクトロタップ(赤)で接続します。
- (3) 灰色18Pコネクタを復元します。

ハーネスの配線

P25-1



右カウルサイド ワイヤtoワイヤの配線 (運転席側)

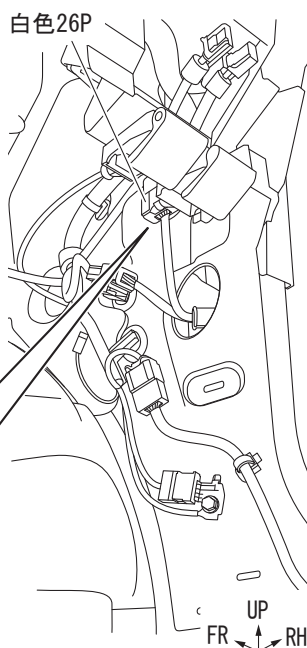
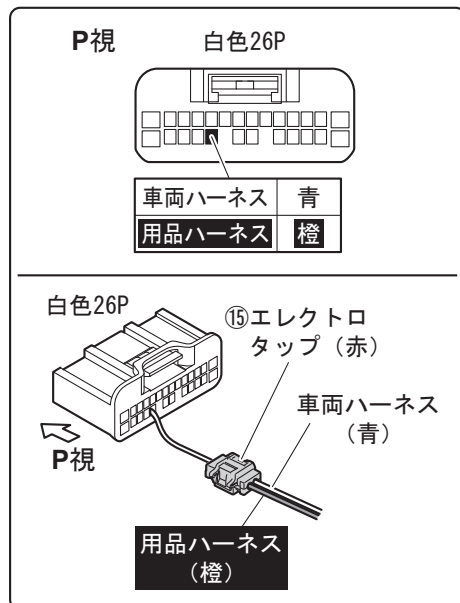
- (1) 車両ハーネスの灰色12Pコネクタを取り外します。
- (2) ⑥ハーネスの電線 (青) を灰色12Pコネクタの図の位置【電線 (青)】に⑬エレクトロタップ (桃) で接続します。
- (3) ⑥ハーネスの電線 (緑) を灰色12Pコネクタの図の位置【電線 (若葉)】に⑬エレクトロタップ (桃) で接続します。

⚠注意

- ・アース端子に干渉防止の為、エレクトロタップの接続作業と⑥ハーネスの配線は図の向きで作業を行ってください。

- (4) 灰色12Pコネクタを復元します。

P25-2



右カウルサイド ワイヤtoワイヤの配線 (運転席側)

- (1) 車両ハーネスの白色26Pコネクタを取り外します。
- (2) ⑥ハーネスの電線 (橙) を白色26Pコネクタの図の位置【電線 (青)】に⑬エレクトロタップ (赤) で接続します。

⚠注意

- ・アース端子に干渉防止の為、エレクトロタップの接続作業と⑥ハーネスの配線は図の向きで作業を行ってください。

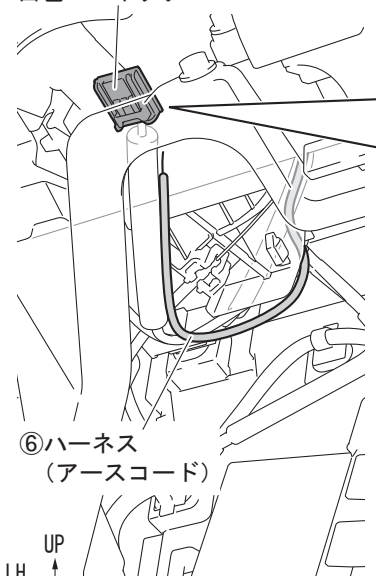
- (3) 白色26Pコネクタを復元します。

ハーネスの配線

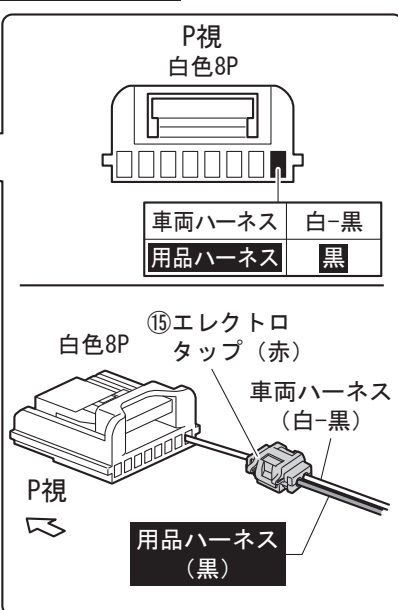
P26-1

マニュアルエアコン車の場合

白色8Pコネクタ

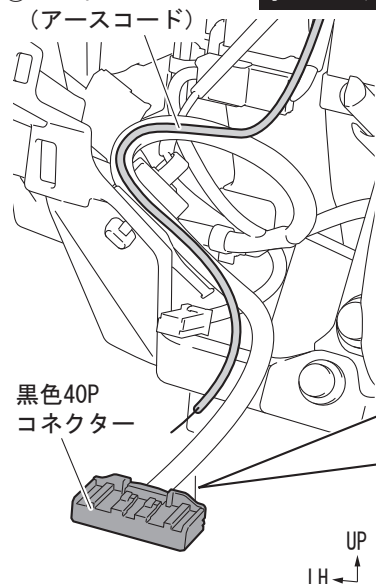


⑥ハーネス
(アースコード)

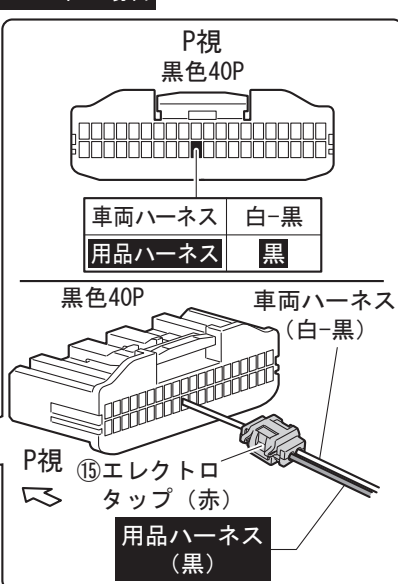


⑥ハーネス
(アースコード)

オートエアコン車の場合



黒色40P
コネクタ



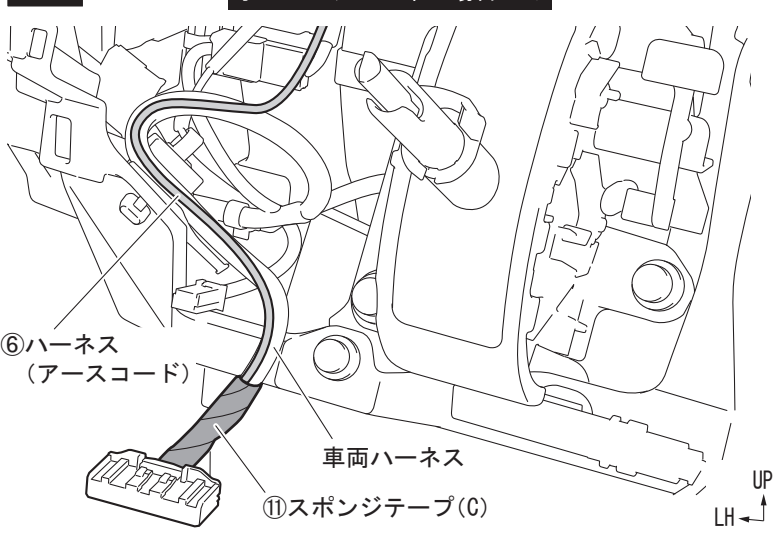
アースコード

- ⑥ハーネスの電線 (黒) を白色8Pコネクタの図の位置【電線 (白-黒)】に⑮エレクトロタップ (赤) で接続します。

- ⑥ハーネスの電線 (黒) を黒色40Pコネクタの図の位置【電線 (白-黒)】に⑮エレクトロタップ (赤) で接続します。

P26-2

オートエアコン車の場合のみ



⑥ハーネス
(アースコード)

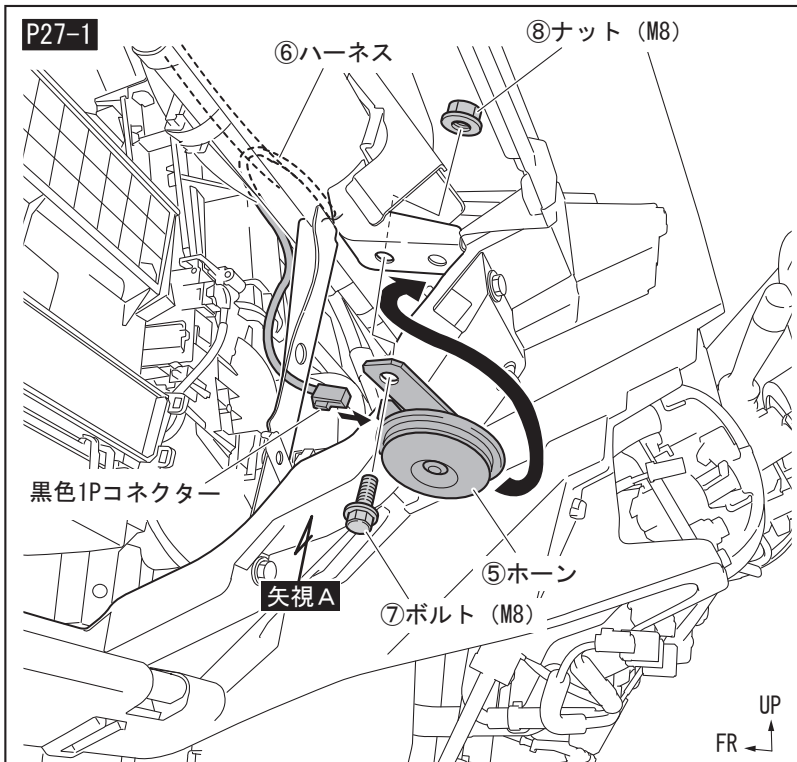
車両ハーネス

⑪スポンジテープ (C)

■ オートエアコン車の場合のみ

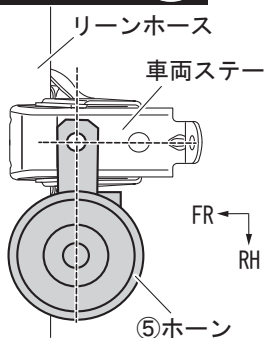
- 接続した⑮エレクトロタップ (赤) を覆うように⑪スポンジテープ (C) を車両ハーネスに貼り付けます。

ホーンの取り付け

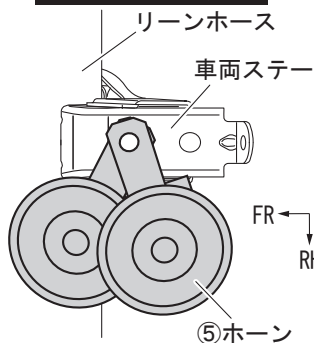


矢視 A

車両ステアに対して垂直



車両ステアに対して斜め

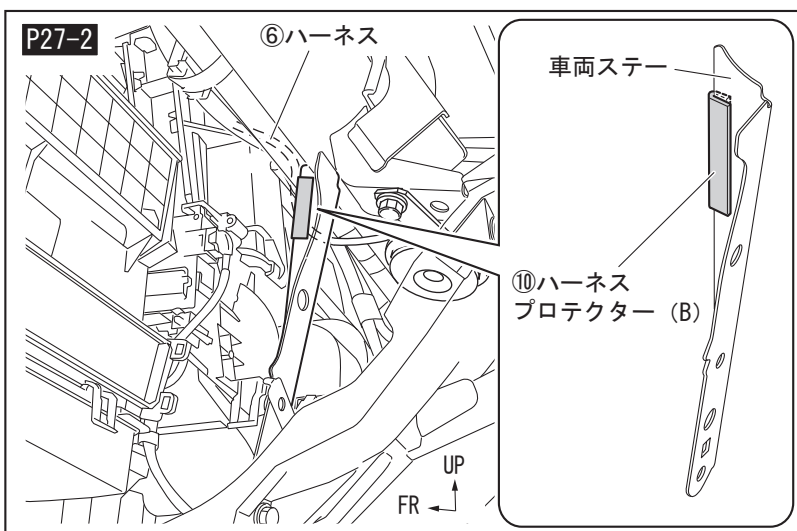


- (1) 左図を参照し、⑤ホーンを⑦ボルト (M8)、⑧ナット (M8) で車両ステアの穴に固定します。

⚠注意

- ・左図を参照し、⑤ホーンをトルクレンチで車両ステアに固定してください。
(締め付けトルク T: 14.7~18.6N・m)
- ・固定後、⑤ホーンが車両部品に干渉していないことを確認してください。

- (2) ⑥ハーネスの黒色1Pコネクタを⑤ホーンに接続します。



- (3) 左図位置の車両ステアを脱脂剤等で脱脂します。

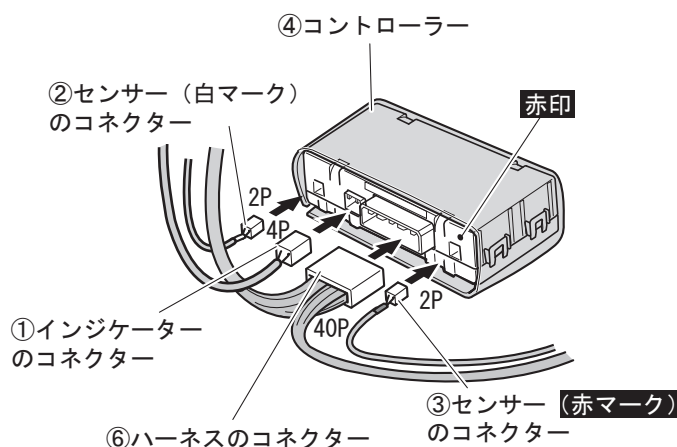
- (4) 左図を参照し、⑥ハーネスが車両ステアのエッジ部に干渉しないように⑩ハーネスプロテクター (B) (1枚) を貼り付けます。

⚠注意

- ・エッジ部を覆うように裏面まで⑩ハーネスプロテクター (B) (1枚) を貼り付けてください。

コントローラーの取り付け及び接続

P28-1



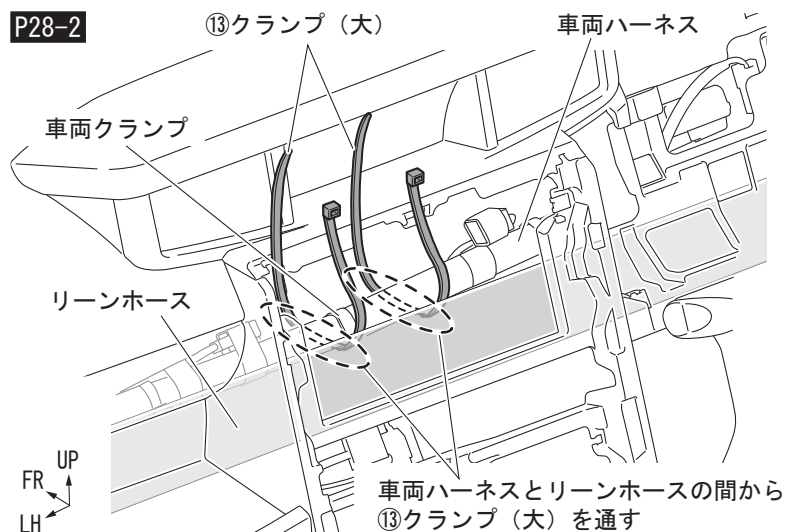
コントローラーの取り付け

- (1) 左図を参照し、④コントローラーに⑥ハーネスのコネクタ40P及び①インジケータのコネクタ4P及び②センサー (白マーク) のコネクタ2P、③センサー (赤マーク) のコネクタ2Pを接続します。

⚠注意

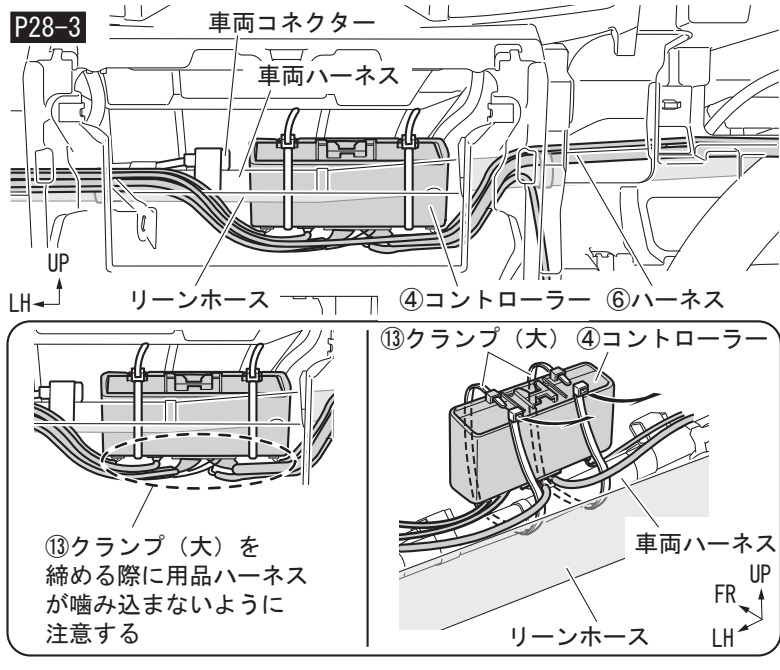
- ・ ②センサー (白マーク)、③センサー (赤マーク) のコネクタは間違えないように接続してください。(マークの色参照)
- ・ ③センサー (赤マーク) のコネクタは、④コントローラーに刻印している赤印側に接続してください。
- ・ 各コネクタの接続はオーディオ開口部より行ってください。

P28-2



- (2) 左図を参照し、⑬クランプ (大) (2本) を車両ハーネスに通します。

P28-3



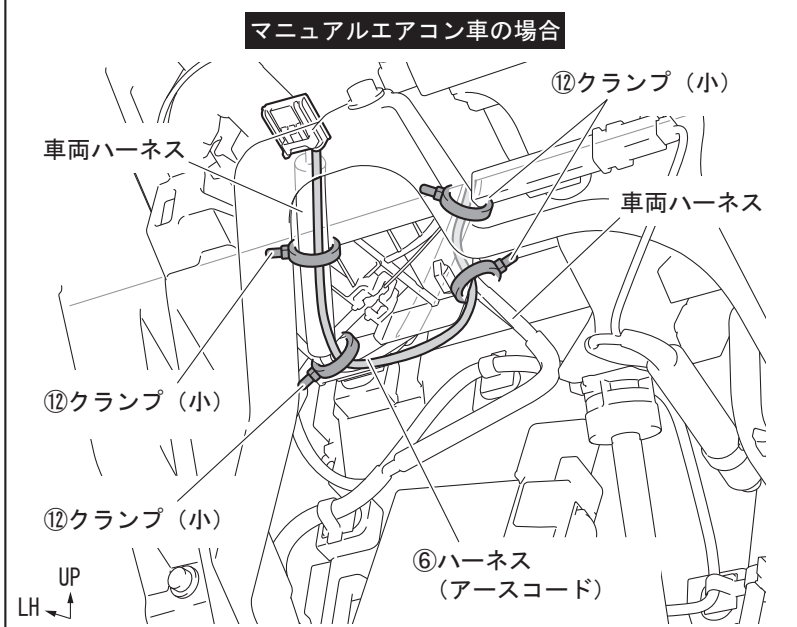
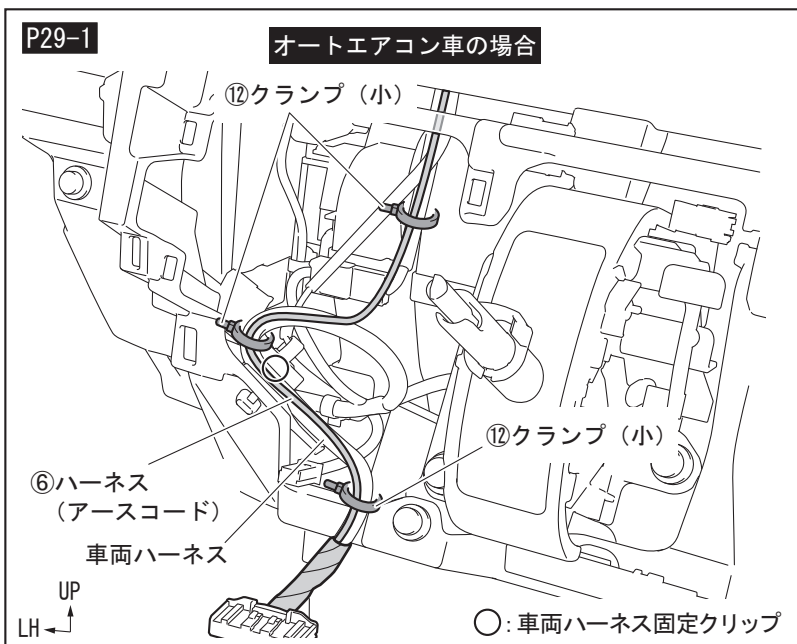
- (3) 通した⑬クランプ (大) (2本) を④コントローラーに仮固定します。

⚠注意

- ・ 接続した各ハーネスが⑬クランプ (大) に噛み込まないように注意してください。

- (4) 仮固定した⑬クランプ (大) (2本) を締めながら④コントローラーを車両ハーネスに固定します。

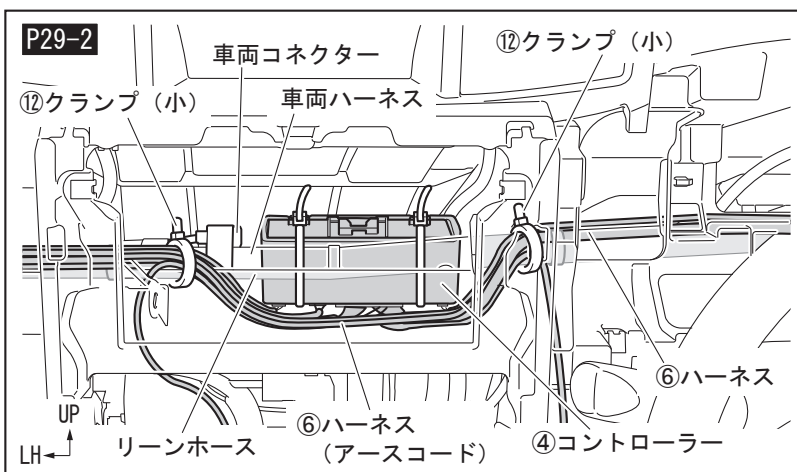
ハーネスの固定



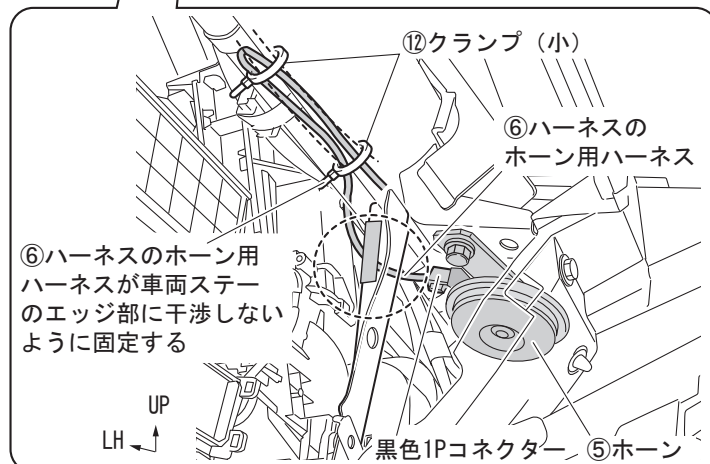
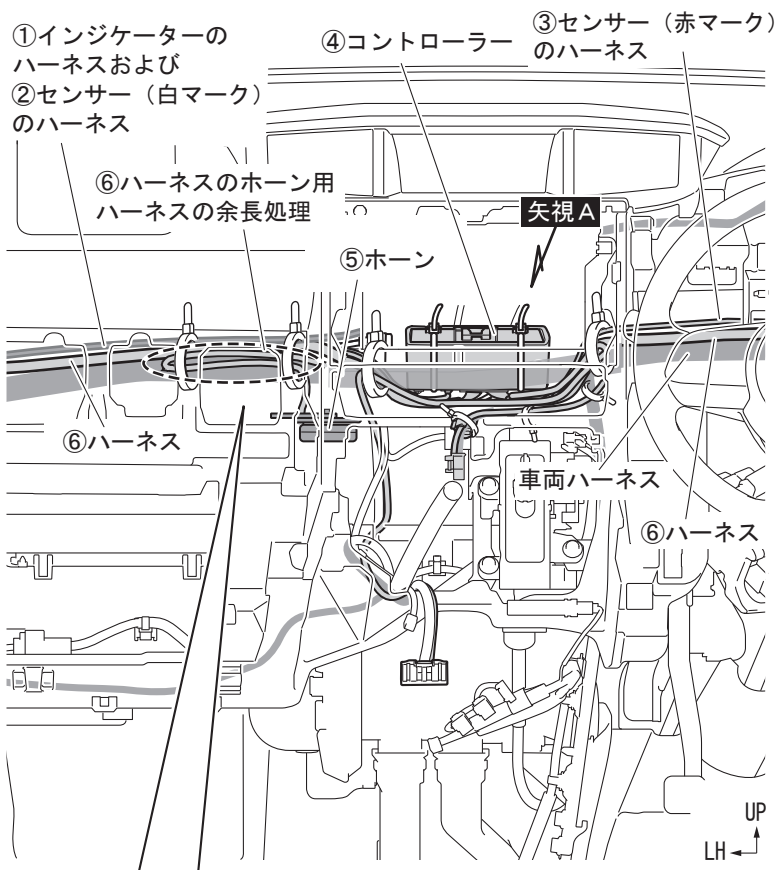
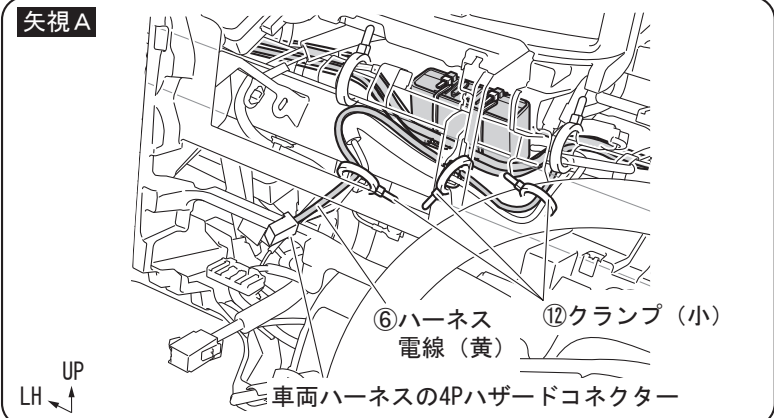
アースコードの固定

- (1) 左図を参照し、⑥ハーネス (アースコード) を車両ハーネスに沿って⑫クランプ (小) (3本または4本) で固定します。

- (2) 左図を参照し、⑥ハーネスを車両ハーネスに⑫クランプ (小) (2本) で固定します。



矢視 A



車両中央部の固定

⚠注意

- ・ ⑥ハーネス、①インジェクターのハーネスおよび②センサー (白マーク)、③センサー (赤マーク) のハーネスは車両の板金エッジ、樹脂バリ及び可動部に干渉しないよう配線し、確実に固定してください。

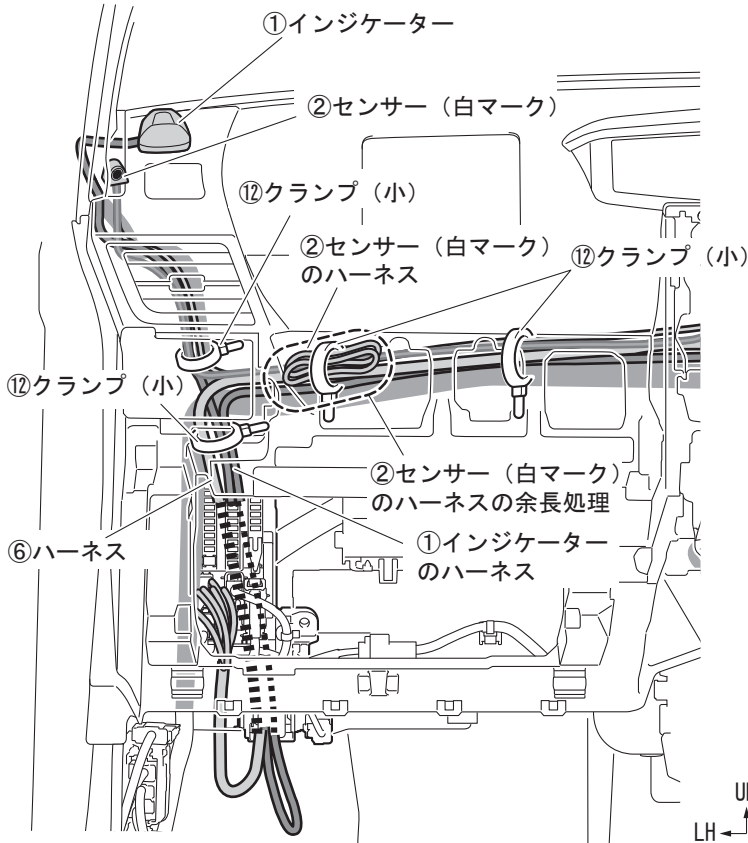
- (1) 左図吹き出しを参照し、⑥ハーネスのホーン用ハーネスの余長分を束ね、①インジェクターのハーネス、②センサー (白マーク) のハーネス、⑥ハーネスと共に車両ハーネスに⑫クランプ (小) (2本) で固定します。

⚠注意

- ・ ⑤ホーンに接続されている黒色1Pコネクタから出ている⑥ハーネスのホーン用ハーネスがつっぱりのないように注意し、車両ステーのエッジ部に干渉しないように⑫クランプ (小) を固定してください。

- (2) 左図 矢視 A を参照し、⑥ハーネスの電線 (黄) を車両ハーネスに⑫クランプ (小) (3本) で固定します。

P31-1



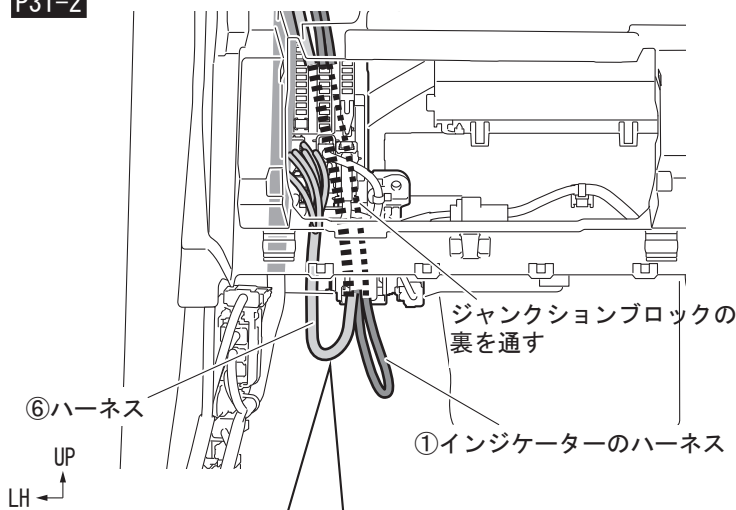
助手席側の固定

⚠注意

- ・ ⑥ハーネス、ホーン用ハーネス、①インジケータースのハーネスおよび②センサー (白マーク) のハーネスは車両の板金エッジ、樹脂バリ及び可動部に干渉しないよう配線し、確実に固定してください。
- ・ ⑫クランプ (小) 固定時は、各ハーネスのはみ出し、噛み込みがないように作業を行ってください。

- (1) 左図を参照し、⑥ハーネスおよび①インジケータースのハーネス、②センサー (白マーク) のハーネスを車両ハーネスに沿って配線し、⑫クランプ (小) (3本) で車両ハーネスに固定します。
- (2) 左図を参照し、②センサー (白マーク) のハーネスの余長分を束ね、車両ハーネスに⑫クランプ (小) (1本) で固定します。

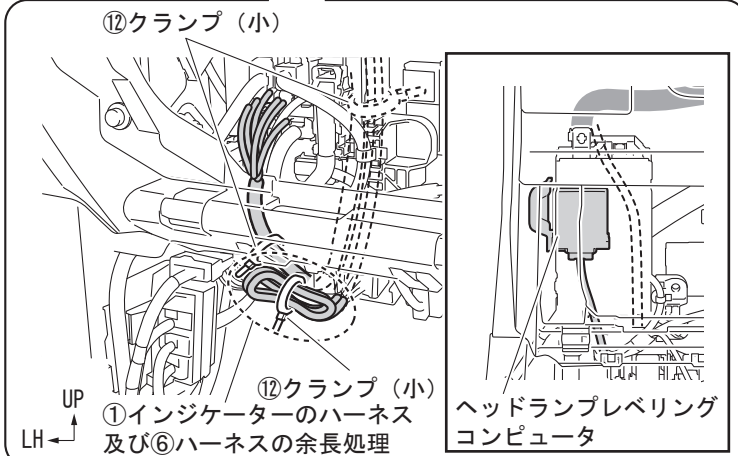
P31-2



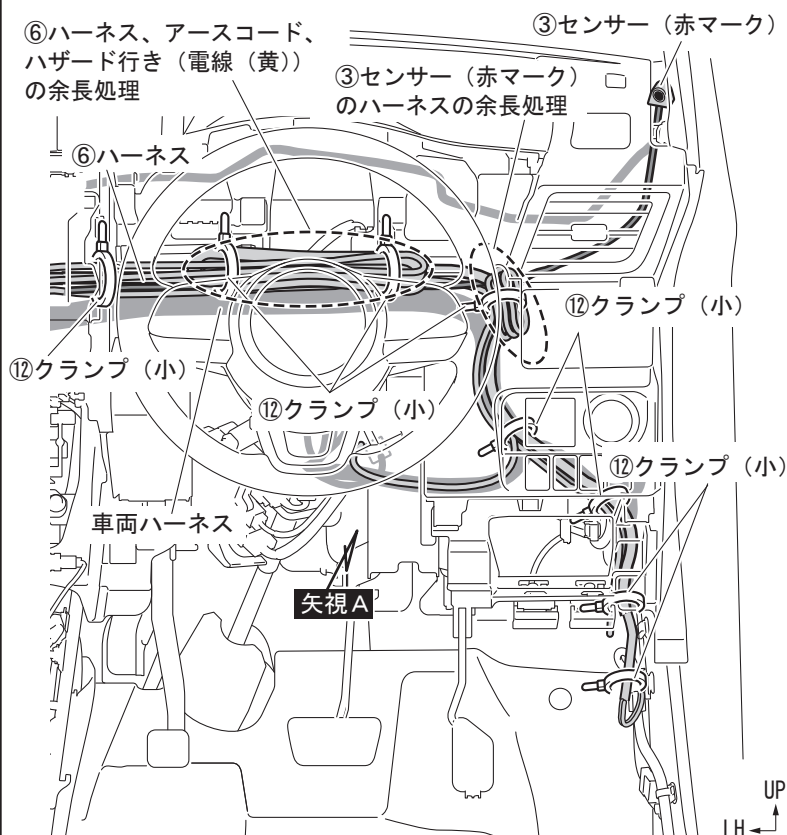
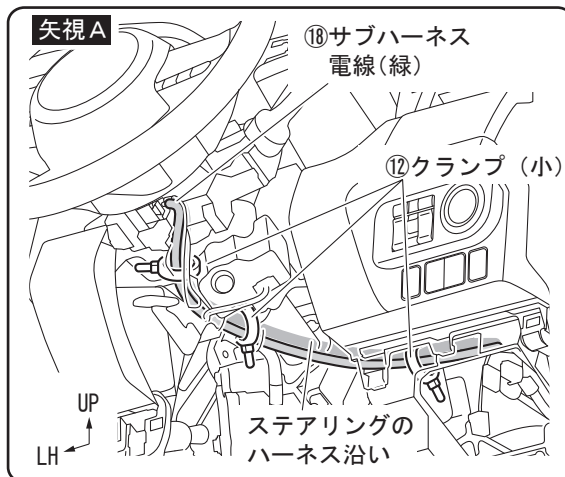
⚠注意

- ・ ジャンクションブロック裏側に⑫クランプ (小) を固定する際、ヘッドランプレベリングコンピュータに触れないように注意してください。

- (3) 左図吹き出しを参照し、⑥ハーネスおよび①インジケータースのハーネスを車両ハーネスに沿って配線し、ジャンクションブロック裏側の車両ハーネスに⑫クランプ (小) (2本) で固定します。
- (4) 左図吹き出しを参照し、①インジケータースのハーネス及び⑥ハーネスの余長分を束ね、車両ハーネスに⑫クランプ (小) (1本) で固定します。



P32-1



運転席側の固定

- (1) 左図 矢視 A を参照し、⑬サブハーネスの電線(緑)を車両ハーネスに⑫クランプ(小)(3本)で固定します。

⚠注意

- ・エアバッグ関連のハーネス(黄色コネクターに続くハーネス)には、絶対に固定しないでください。

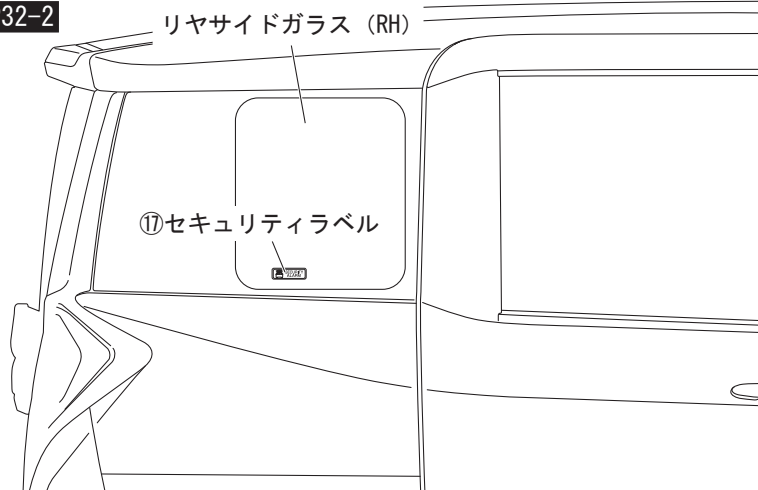
- (2) 左図を参照し、⑥ハーネスを車両ハーネスに⑫クランプ(小)(4本)で固定します。
- (3) 左図を参照し、③センサー(赤マーク)のハーネス、⑥ハーネス、アースコード、ハザード行き(電線(黄))の余長分を束ね、車両ハーネスに⑫クランプ(小)(4本)で固定します。

⚠注意

- ・⑥ハーネス及び③センサー(赤マーク)のハーネスは車両の板金エッジ、樹脂バリ及び可動部に干渉しないよう配線し、確実に固定してください。

セキュリティラベルの貼り付け

P32-2



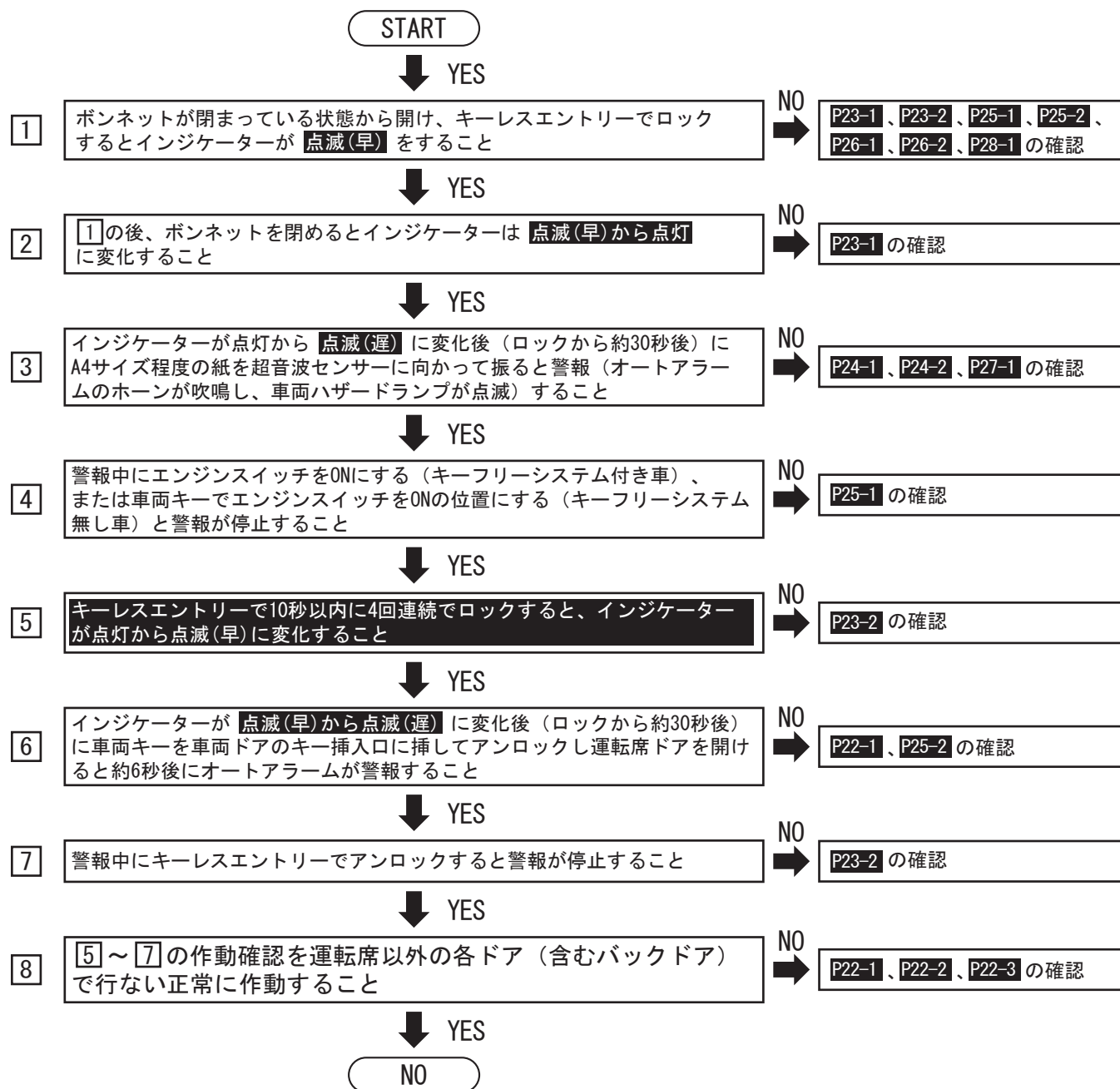
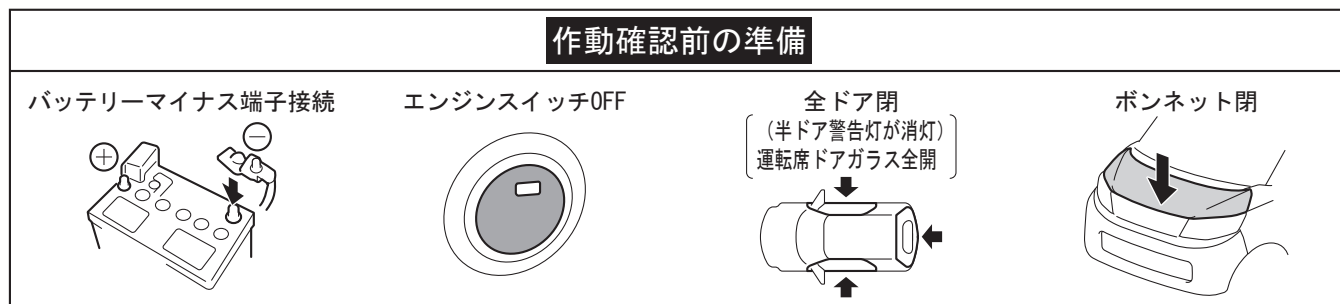
- (1) ⑰セキュリティラベル貼り付け位置を脱脂剤等で脱脂し、リヤサイドガラス(RH)に貼り付けます。

⚠注意

- ・貼り付け位置付近に車両ラベルが貼り付けられている場合は、避けて貼り付けてください。

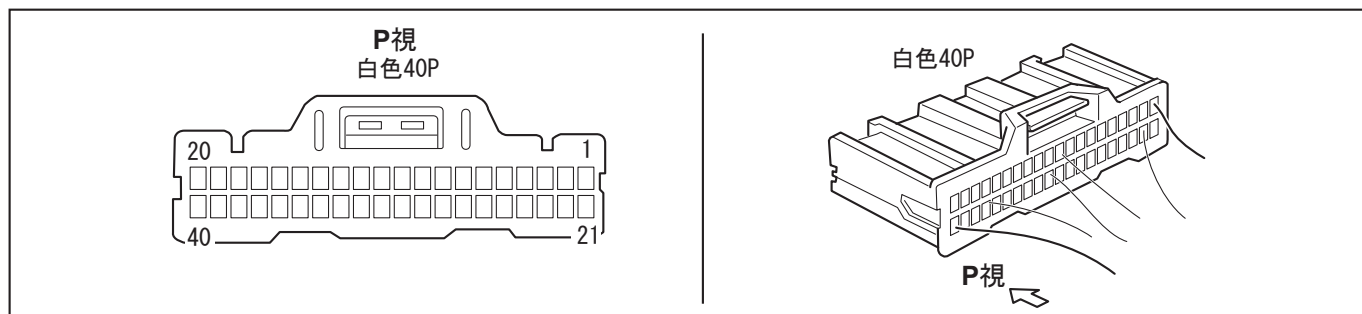
作 動 確 認

バッテリーのマイナス端子を接続し、下表の手順で作動確認を行ってください。異常があった場合は異常時の点検箇所を点検し、接続先が間違っていない場合はハーネスの点検を行ってください。



ハーネスの点検

次の手順により、ハーネスの点検を行います。基準以外の場合は、接続先の確認及び接続状態の確認（エレクトロタップの接触不良など）をしてください。



△注意

- 端子かん合面からテスターを挿さないでください。

端子番号	信号名	点検条件	基準
1	+B	常時	10～14V
12	HOOD	エンジンフードを開ける	アースと導通なし→あり
14	UNLOCK	キーレスエントリーまたはリクエストスイッチでアンロックする	0V→10～14V→0V (一瞬) ※1
15	LOCK	キーレスエントリーまたはリクエストスイッチでロックする	0V→10～14V→0V (一瞬) ※1
18	STATUS	車両キーを車両ドアのキー挿入口に挿してアンロック側に回す	アースと導通なし→あり
27	HAZARD	車両ハザードスイッチをOFF→ONにする	アースと導通なし→あり
32, 33	IGN	エンジンスイッチをOFF→ONにする	0V→10～14V
34	ドアスイッチ (DR)	運転席ドアを開ける	アースと導通なし→あり
35	ドアスイッチ	運転席以外のドアを開ける※2	アースと導通なし→あり
36	ドアスイッチ	運転席以外のドアを開ける※2	アースと導通なし→あり
37	ドアスイッチ	運転席以外のドアを開ける※2	アースと導通なし→あり
38	ドアスイッチ	運転席以外のドアを開ける※2	アースと導通なし→あり
7, 20, 40	GND	常時	アースと導通あり

※1 一瞬のため、テスターによっては測れない場合があります
 ※2 端子番号35～38のドアスイッチには運転席以外のドアスイッチ信号のいずれかが接続されていますので、端子番号35～38のすべてが基準であれば問題ありません

復元作業

「作動確認」完了後、取り外した車両部品を下記の点に注意し、元通りに取り付けてください。

△注意

- 復元作業は、車両ハーネス及び用品ハーネスの噛み込みや、車両部品の損傷に充分注意してください。

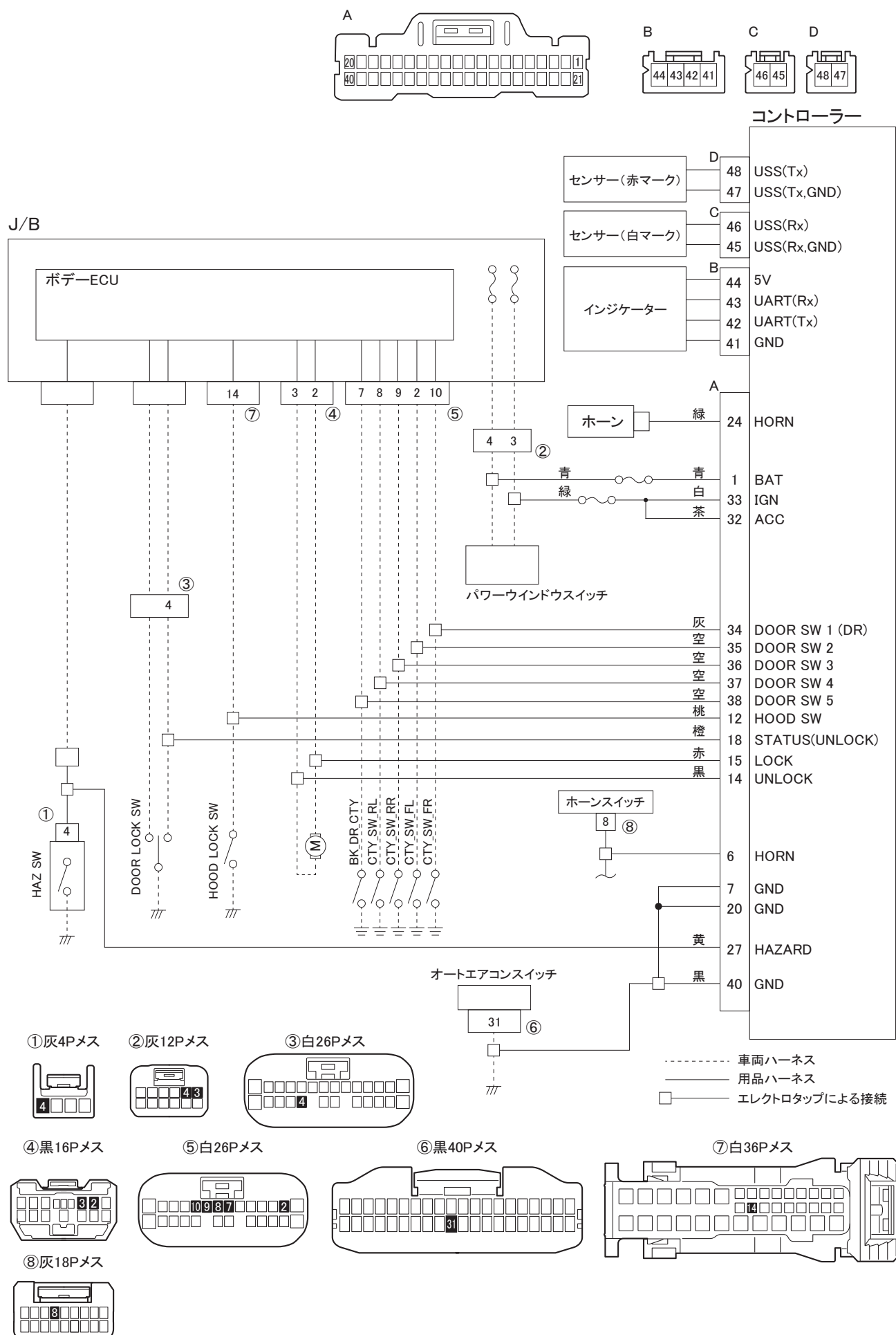
バッテリー復元時の注意事項

- バッテリー復元作業終了後、車両機能部品に初期化が必要な部品がありますので、作業終了後には必ず初期化作業を行ってください。

最終確認

- ハーネス類の噛み込み及び、車両部品の取り付けミスがないかもう一度確認してください。
- ドアロック・パワーウインド・ハザード等、電気系統に異常がないか確認してください。

配線図（オートエアコン車の場合）



配線図（マニュアルエアコン車の場合）

